

バリューチェーンの強化

建機用フィルタ事業は5年後に売上倍増
エアフィルタ事業は利益率の改善を図る
ヘルスケア事業は市場に対応し事業構造改革を図る

ヤマシンフィルタ株式会社
2022年3月期 第2四半期
決算説明資料

2021年11月19日

2022年3月期第2四半期における事業環境・当社取り組みについて

事業環境

- ・ 建機用フィルタ事業：新型コロナウイルスの感染再拡大懸念、物流コストの継続的な高騰、半導体など原材料価格高騰による影響等先行きは依然不透明。各国経済の回復に向けたインフラ設備投資や資源需要増に伴う、建機の稼働時間の顕著な増加と新車需要の急激な回復
- ・ 世界最大の建機市場の中国では、油圧ショベルの新車販売台数が過去最大の前年度に比べやや減少すると見込まれるものの、依然高水準
- ・ エアフィルタ事業・ヘルスケア事業：各国経済活動の再開での社会・生活様式の変化や、世界の直面する気候変動や環境課題のもと当社のビジネス拡大機会が到来



当社取り組み

「YAMASHIN Nano Filter™」展開

- ◆ 建機用フィルタビジネス
⇒ 高付加価値かつサステナブルな製品・技術の普及によるGHG（Green House Gas=温室効果ガス）排出量削減に貢献
- ◆ エアフィルタビジネス
⇒ ナノファイバー製品・技術により、GHG排出量削減、気候変動、環境課題解決に貢献
- ◆ ヘルスケアビジネス
⇒ 健康被害リスク低減に貢献
- ◆ その他事業ポートフォリオ確立
⇒ アパレル、油吸着材、その他産業資材への活用によりサステナブルな製品供給拡大

2022年3月期 第2四半期 業績動向

- **連結売上高：前年同期比45.6%増収の95億56百万円**
 - ・ 建機用フィルタ：前年同期比 60.8%増収の 78億58百万円
 - ・ エアフィルタ：前年同期比 2.9%減収の 12億51百万円
 - ・ ヘルスケア：前年同期比 15.4%増収の 4億46百万円
- **営業利益：前年同期比9億15百万円増益の8億87百万円**
 - ・ 建機用フィルタ事業は、物流コストや原材料価高騰するも大幅な売上増加により大幅増益
 - ・ エアフィルタ事業は、オフィスビル等の稼働率低下の影響により需要減少により減益
 - ・ ヘルスケア事業は、全自動化ライン導入で第3四半期以降の原価低減を見込む途上段階であり、製造原価低減が不十分であったため営業損失

当社取り組みについて（詳細）

- バリューチェーンの再編・強化を全事業で実施
- ESGへの取り組みと事業ポートフォリオ拡大を両立
- 建機事業はサプライチェーンの見直しにより収益力を強化
- エアフィルタ・ヘルスケア事業の生産性向上による収益改善を図る

建機用フィルタビジネス

新素材やIoT技術を活かした高付加価値フィルタ製品ラインナップの拡充

ナノファイバー製ロングライフフィルタ、エアレーション技術、センサ技術を搭載したフィルタ製品の展開を実施

北米市場、中国市場のシェア拡大

当社主力製品であるリターンフィルタに加え、燃料用、トランスミッション用フィルタ等の新規採用提案、中国系建機メーカーへの採用実績が進展

エアフィルタビジネス

欧米市場でのエアフィルタ性能規格取得（ASHRAE、EN等）による海外市場開拓

ナノファイバー製エアフィルタ供給拡大

ナノファイバー製エアフィルタのオフィスビル、病院、工場、鉄道車両、等への採用を加速

ヘルスケアビジネス

家庭用マスク市場

全自動化ライン導入による原価低減等による事業の構造改革・収益性改善を実施

医療用マスク市場

DS2認定取得、N95等の海外認証取得により長期的な視点での市場開拓を実施

その他事業ポートフォリオ確立 「YAMASHIN Nano Filter™」展開

産業資材としての市場領域の拡大

YAMASHIN Nano Filter™の各種産業資材としての活用に向けた採用提案を実施

I

2022年3月期第2四半期実績及び2022年3月期通期見通し

P4

II

市場を取り巻く環境

P30

III

今後の戦略

P48

決算

I 2022年3月期第2四半期実績及び 2022年3月期通期見通し

2022年3月期 第2四半期業績 (2021年7月~9月)

		2021/3期 Q2 実績	2022/3期 Q2 実績	前年同期比	
		金額 (百万円)	金額 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率
売上高		3,705	4,870	1,165	31.5%
	建機用フィルタ※	2,779	4,105	1,326	47.7%
	エアフィルタ	624	613	△10	△1.6%
	ヘルスケア	301	151	△150	△49.9%
営業利益 (セグメント利益)		48	546	497	1,029.1%
	建機用フィルタ※	322	1,052	730	226.6%
	エアフィルタ	16	△8	△25	-
	ヘルスケア	69	△125	△195	-
	全社費用	△360	△372	12	△3.4%
営業利益率		1.3%	11.2%	9.9Pt	
経常利益		41	541	500	1,214.6%
経常利益率		1.1%	11.1%	10.0Pt	
四半期純利益		△69	120	189	-
四半期純利益率		△1.9%	2.5%	4.3Pt	
為替レート (円) (期中平均値)	USD	106.9	109.8	2.9	2.7%
	EUR	121.3	130.9	9.6	7.9%

※「建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含みます

*各セグメントの業績及び全社費用をよりの確に把握するため、当社の各報告セグメントに帰属しない本社及び一部子会社の管理部門の一般管理費等の全社費用につきましては、全社費用を別掲することにより、前連結会計年度より所定のセグメントに配賦しない方法に変更しております。そのため、前第2四半期数値については変更後の区分により作成したものを掲載しています

	2021/3期 Q2 実績	2022/3期 Q2 実績	前年同期比	
	金額（百万円）	金額（百万円）	増減額（百万円）	増減率
建機用フィルタ	2,495	3,737	1,242	49.8%
ライン品	928	1,296	367	39.6%
補給品	1,566	2,441	874	55.8%
産業用フィルタ	126	125	△0	△0.7%
プロセス用フィルタ	157	242	84	53.9%
建機用フィルタ 合計	2,779	4,105	1,326	47.7%
エアフィルタ	624	613	△10	△1.6%
ヘルスケア	301	151	△150	△49.9%
売上高合計	3,705	4,870	1,165	31.5%

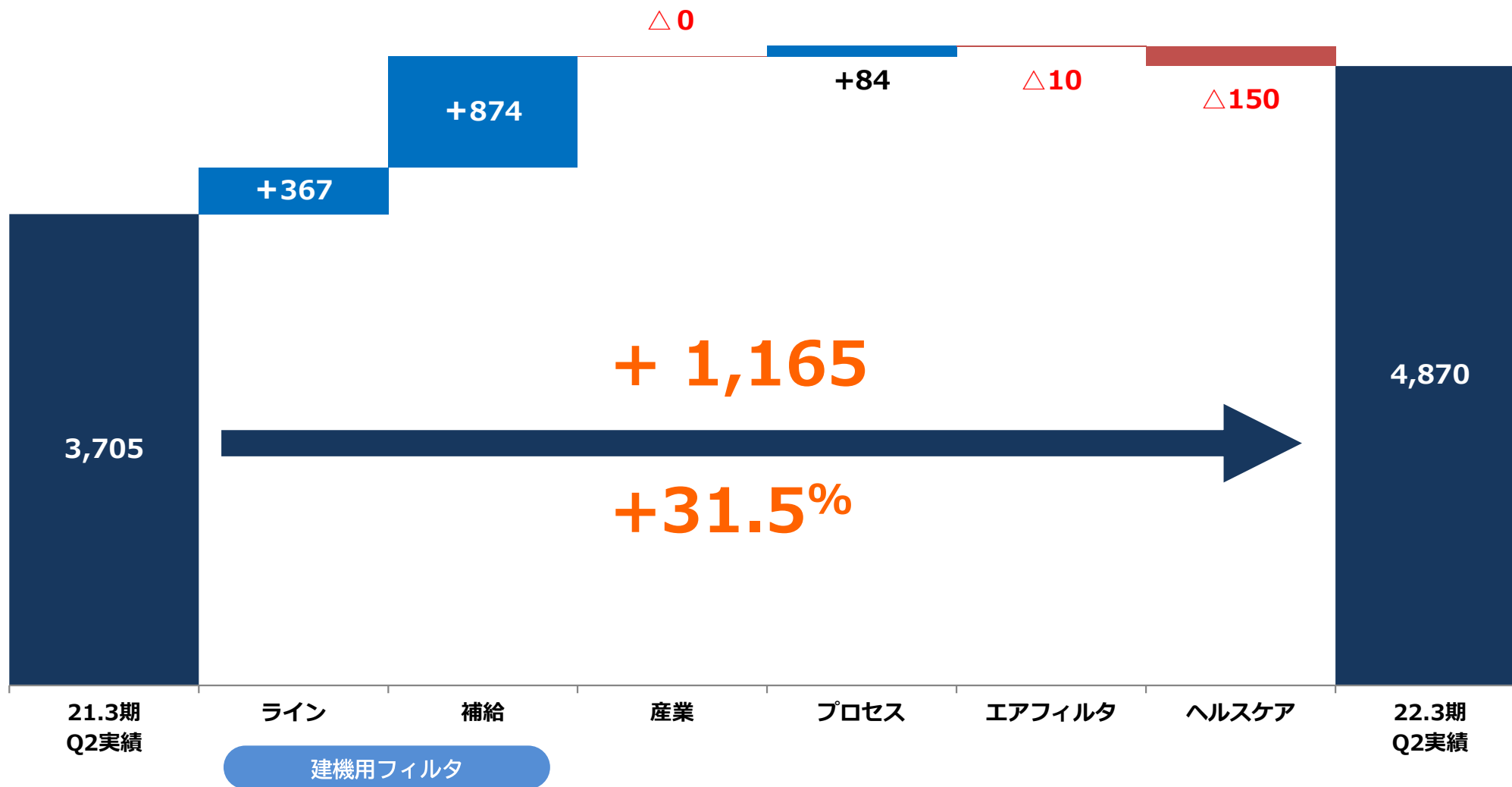
	2021/3期 Q2 実績		2022/3期 Q2 実績		前年同期比	
	金額（百万円）	構成比	金額（百万円）	構成比	増減額（百万円）	増減率
建機用フィルタ※	2,779	75.0%	4,105	84.3%	1,326	47.7%
国内	1,173	31.7%	1,862	38.2%	688	58.7%
北米	560	15.1%	904	18.6%	343	61.3%
中国	351	9.5%	379	7.8%	27	7.9%
アジア	350	9.5%	553	11.4%	202	57.9%
欧州	342	9.2%	406	8.4%	64	18.8%
その他（中東他）	0	0.0%	0	0.0%	0	△100.0%
エアフィルタ（国内）	624	16.8%	613	12.6%	△10	△1.6%
ヘルスケア（国内）	301	8.1%	151	3.1%	△150	△49.9%
売上高合計	3,705	100.0%	4,870	100.0%	1,165	31.5%

※「建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含みます

* 当社は請求書送付先基準のため、実際の地域別市場動向と差異が出ます

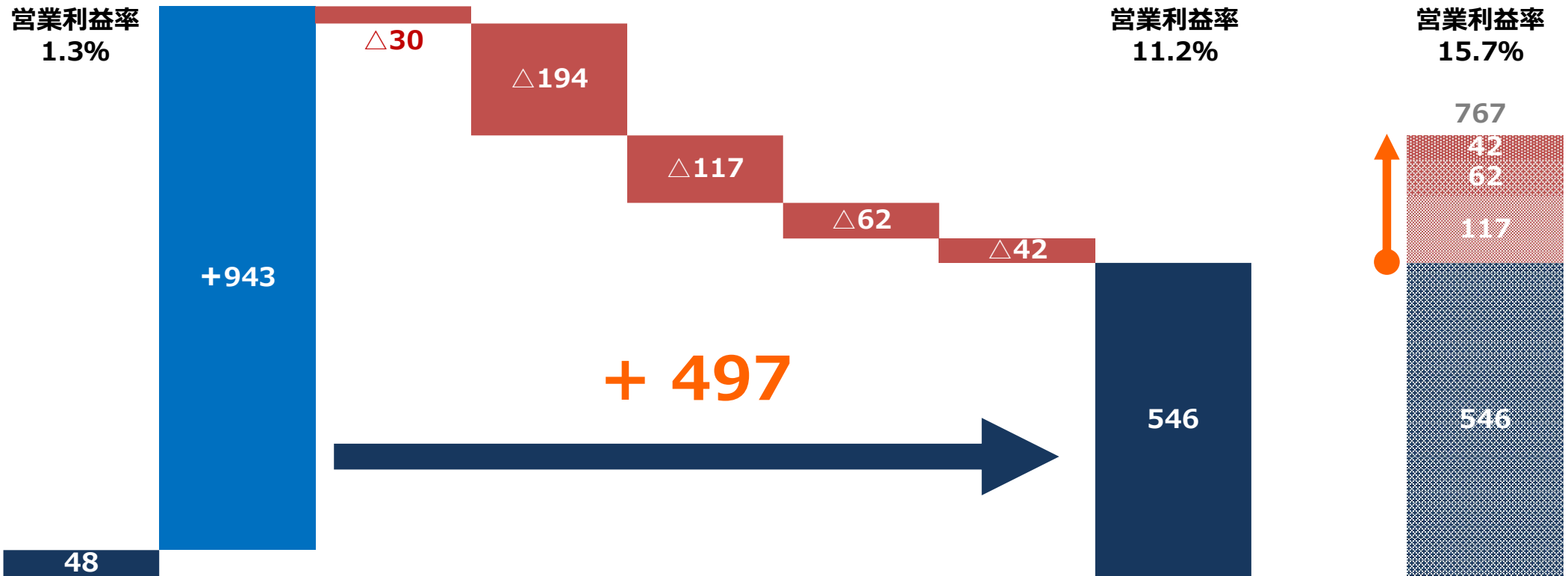
売上高の増減要因（2021/7-9）

(単位：百万円)



営業利益の増減要因 (2021/7-9)

(単位：百万円)



営業利益
21.3期
Q2実績

[建機]
販売増加
に伴う増益

[エアフィルタ]
販売減少・
固定経費増加
に伴う減益

[ヘルスケア]
販売減少
に伴う減益

[建機]
海上輸送費増加
に伴う減益

[建機]
航空運賃発生
に伴う減益

[建機]
材料費高騰
に伴う減益

営業利益
22.3期
Q2実績

本来の収益力
22.3期
Q2

2022年3月期 第2四半期 累計業績 (2021年4月~9月)

		2021/3期	2022/3期	前年同期比	
		Q2累計 実績	Q2累計 実績	増減額 (百万円)	増減率
		金額 (百万円)	金額 (百万円)		
売上高		6,563	9,556	2,992	45.6%
	建機用フィルタ※	4,888	7,858	2,969	60.7%
	エアフィルタ	1,288	1,251	△36	△2.8%
	ヘルスケア	386	446	59	15.4%
営業利益 (セグメント利益)		△50	887	937	-
	建機用フィルタ※	427	1,851	1,424	333.2%
	エアフィルタ	87	11	△75	△86.5%
	ヘルスケア	106	△236	△342	△322.0%
	全社費用	△671	△739	△68	10.2%
営業利益率		△0.8%	9.3%	10.1Pt	
経常利益		△60	876	937	-
経常利益率		△0.9%	9.2%	10.1Pt	
四半期純利益		△152	328	480	-
四半期純利益率		△2.3%	3.4%	5.8Pt	
為替レート (円) (期中平均値)	USD	106.9	109.8	2.9	2.7%
	EUR	121.3	130.9	9.6	7.9%

※「建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含みます。

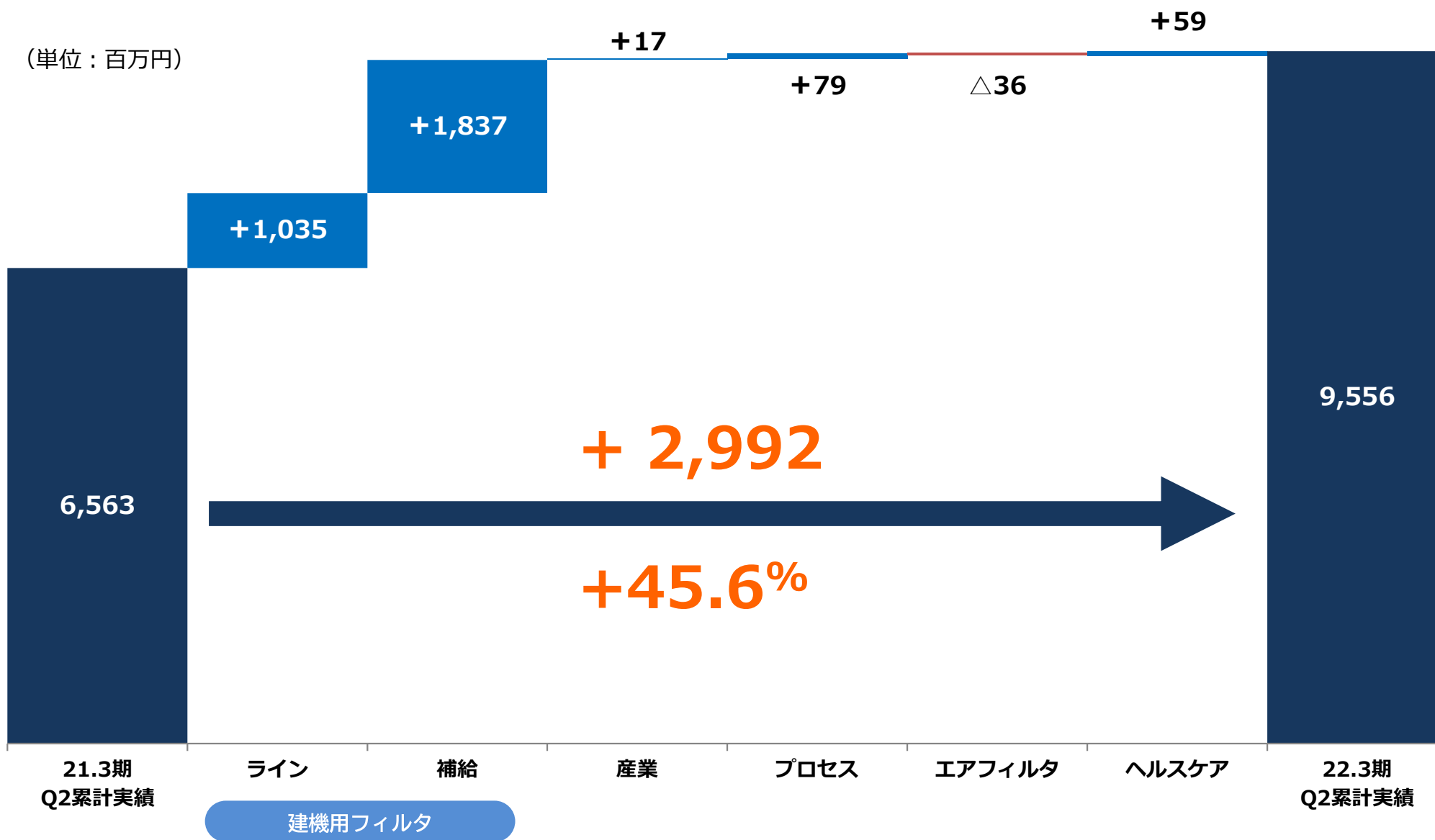
*各セグメントの業績及び全社費用をよりの確に把握するため、当社の各報告セグメントに帰属しない本社及び一部子会社の管理部門の一般管理費等の全社費用につきましては、全社費用を別掲することにより、前連結会計年度より所定のセグメントに配賦しない方法に変更しております。そのため、前第2四半期数値については変更後の区分により作成したものを掲載しています

	2021/3期	2022/3期	前年同期比	
	Q2累計 実績	Q2累計 実績	増減額 (百万円)	増減率
	金額 (百万円)	金額 (百万円)		
建機用フィルタ	4,299	7,172	2,873	66.8%
ライン品	1,750	2,785	1,035	59.2%
補給品	2,549	4,387	1,837	72.1%
産業用フィルタ	238	255	17	7.2%
プロセス用フィルタ	351	430	79	22.5%
建機用フィルタ 合計	4,888	7,858	2,969	60.7%
エアフィルタ	1,288	1,251	△36	△2.8%
ヘルスケア	386	446	59	15.4%
売上高合計	6,563	9,556	2,992	45.6%

	2021/3期 Q2累計 実績		2022/3期 Q2累計 実績		前年同期比	
	金額（百万円）	構成比	金額（百万円）	構成比	増減額（百万円）	増減率
建機用フィルタ※	4,888	74.5%	7,858	82.2%	2,969	60.7%
国内	2,174	33.1%	3,591	37.6%	1,416	65.1%
北米	855	13.0%	1,590	16.6%	735	85.9%
中国	676	10.3%	944	9.9%	267	39.5%
アジア	624	9.5%	918	9.6%	293	47.0%
欧州	555	8.5%	812	8.5%	256	46.1%
その他（中東他）	1	0.0%	1	0.0%	0	2.1%
エアフィルタ（国内）	1,288	19.6%	1,251	13.1%	△36	△2.8%
ヘルスケア（国内）	386	5.9%	446	4.7%	59	15.4%
売上高合計	6,563	100.0%	9,556	100.0%	2,992	45.6%

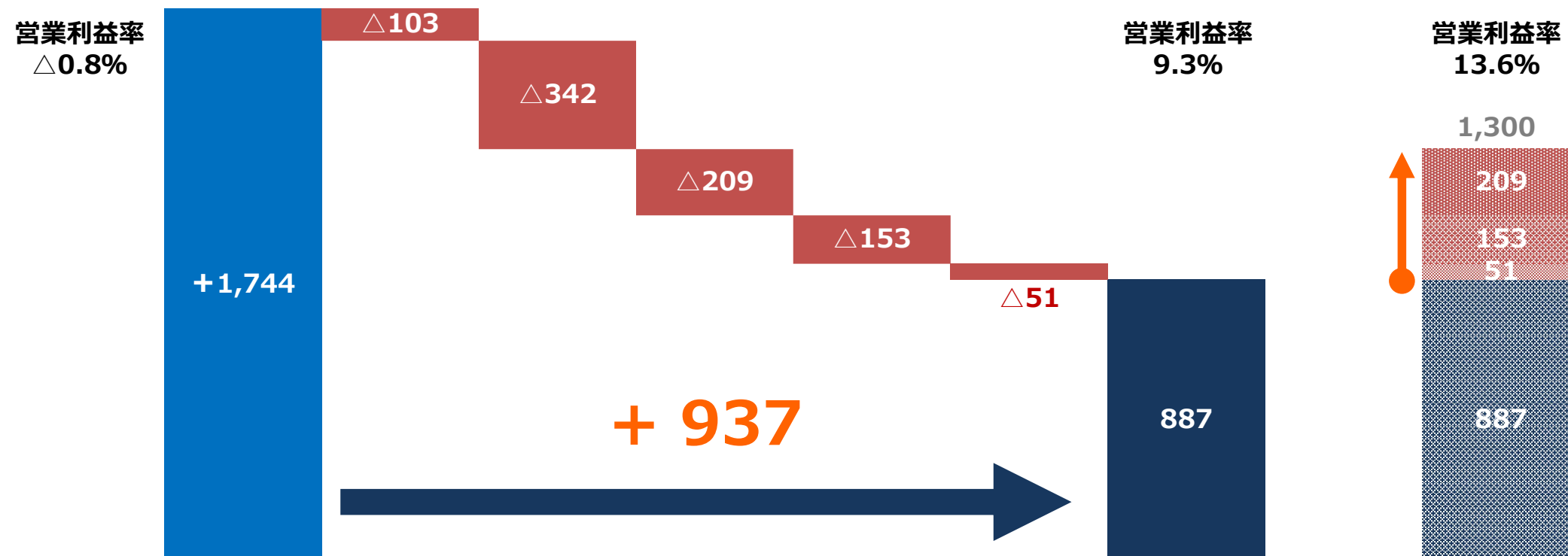
※ 「建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含みます

* 当社は請求書送付先基準のため、実際の地域別市場動向と差異が出ます



営業利益の増減要因 (2021/4-9)

(単位：百万円)



△-50

営業利益
21.3期
Q2累計実績

[建機]
販売増加
に伴う増益

[エアフィルタ]
販売減少・
固定経費増加
に伴う減益

[ヘルスケア]
販売減少
に伴う減益

[建機]
海上輸送費増加
に伴う減益

[建機]
航空運賃発生
に伴う減益

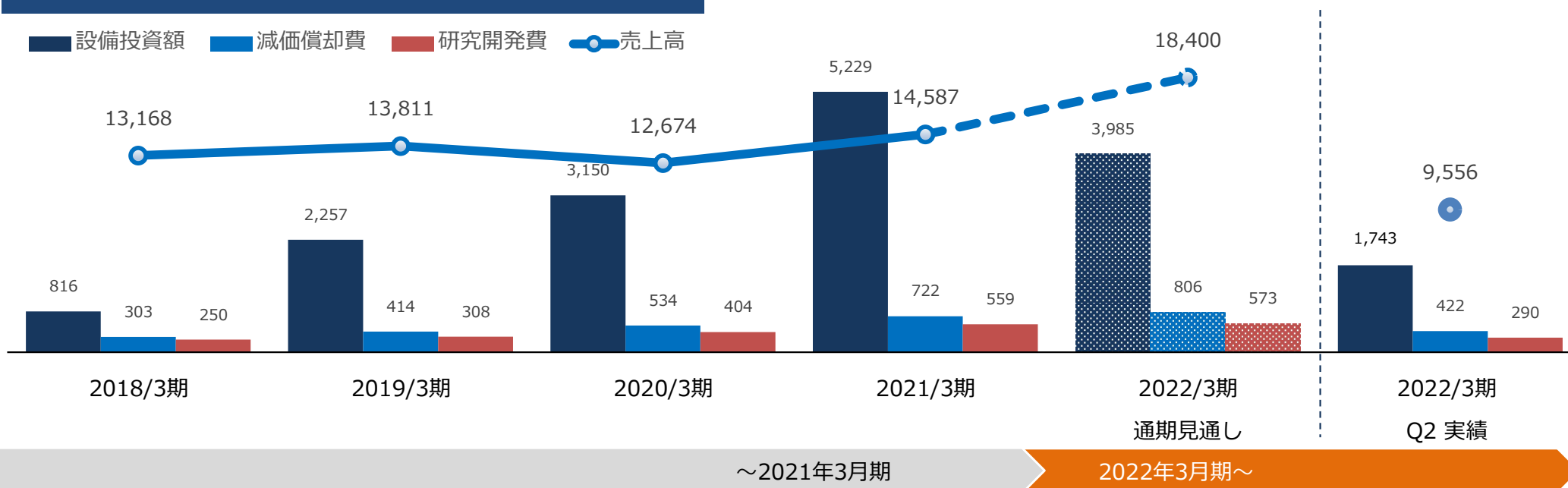
[建機]
材料費高騰
に伴う減益

営業利益
22.3期
Q2累計実績

本来の収益力
22.3期
Q2累計

単位 百万円	2018年3月期 実績	2019年3月期 実績	2020年3月期 実績	2021年3月期 実績	2022年3月期 通期見通し	2022年3月期 Q2 実績
売上高	13,168	13,811	12,674	14,587	18,400	9,556
設備投資額	816	2,257	3,150	5,229	3,985	1,743
土地・建物	-	1,588	2,682	3,194	3,233	1,062
その他設備投資	816	669	468	2,036	752	681
売上高比率	6.2%	16.3%	24.9%	35.9%	21.7%	18.2%
減価償却費	303	414	534	722	806	422
売上高比率	2.3%	3.0%	4.2%	5.0%	4.4%	4.4%
研究開発費	250	308	404	559	573	290
売上高比率	1.9%	2.2%	3.2%	3.8%	3.1%	3.0%

売上高及び設備投資額・減価償却費・研究開発費の推移



生産技術・管理・システムの総合的な改善を実施し、利益体制の強化を図る

PAC21

Promptly
迅速

Activated
かつ効果的な

Cost reduction
コスト削減計画

20**21**

削減目標金額

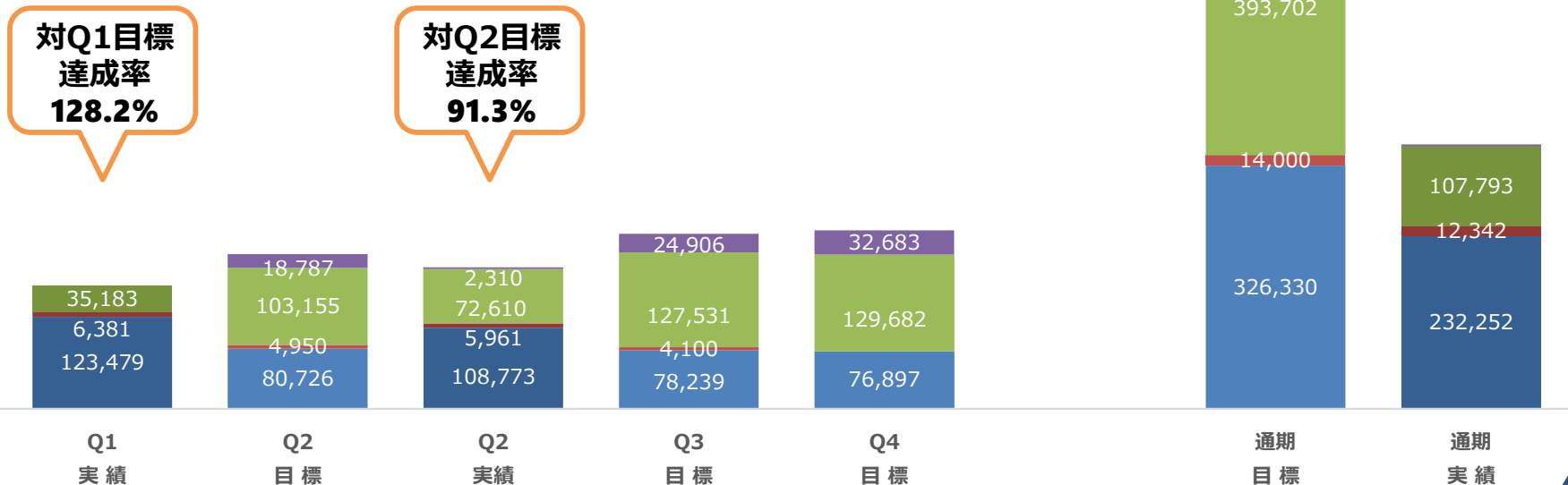
単位：千円

		Q1	Q1 実績	Q2	Q2 実績	Q3	Q4	通期	通期 実績
PAC21	製造原価	90,469	123,479	80,726	108,773	78,239	76,897	326,330	232,252
	販管費	4,950	6,381	4,950	5,961	4,100	0	14,000	12,342
計		95,419	129,860	85,676	114,734	82,339	76,897	340,330	244,594
人員削減		33,335	35,183	103,155	72,610	127,531	129,682	393,702	107,793
PAC21+		0	0	18,787	2,310	24,906	32,683	76,376	2,310
総合計		128,754	165,043	207,618	189,654	234,777	239,261	810,409	354,697

(単位：千円)

進捗状況

■ 製造原価 ■ 販管費 ■ 人員削減 ■ PAC21+



管理部門にとどまらず、現場にまで
企業価値向上の目標数値を落とし込む

MAVY'Sとは (ROIC - WACC)

Maximizing
Added
Value of
Yamashin Filter
Spread

投下資本の利潤最大化を目指し、
各責任部署が (KPI) を設定し
業務に取り組む (KSF) ための
最重要指標 (KGI)

MAVY's
スプレッド拡大により
ステークホルダーの期待に応える

各指標に対して、担当部署を
割り振り、各KPIを設定して
目標達成に向けた業務運営を
全社にて行う

Key Goal Indicator (KGI)	Key Performance Indicator (KPI)	Key Success Factor (KSF)	責任部署	22.3期部門目標 (action plan)	22.3期進捗																																																		
MAVY's Prv: -11.3% Cur: -3.2%	売上高営業利益率 Prv: -1.0% Cur: 9.2%	ROIC Prv: -1.4% Cur: 4.6%	売上高総利益率 Prv: 39.8% Cur: 43.4%	売上高伸長率 Prv: 5.6% Cur: 26.1%	中国企業への参入拡大・加速 ・エアフィルタラインナップによる製品・提案力強化 ・マスク関連製品市場への進出 ・新規事業領域への進出	・中国系建機メーカー向け新機種採用実績向上 ・ハイブリッドフィルタの各社提案進展 ・ヘルスケア、その他産業資材への量産供給提案継続																																																	
							WACC Prv: 9.9% Cur: 7.8%	売上原価率 Prv: 60.2% Cur: 56.6%	購買力強化 歩留り改善	生産・SCM	・PAC21 ・購買力強化 ・生産管理の改善	・購買先の評価基準の見直しと集約実施完了 ・共通購買(アクション)による調達コスト削減 ・計画的な保守・保全実施による歩留まり改善、製造原価削減実行進展																																											
													ROE Prv: 3.8% Cur: 3.5%	減価償却費率 Prv: 4.6% Cur: 4.4%	投資計画	経営企画 財務経理	・M&A (収益拡大・経営安定化手段) →M&A先企業の情報収集 →不織布事業体買収(下流) →新素材開発企業買収(上流)	・国内外のM&Aデータの収集並びに潜在可能性あるM&A先とのコミュニケーションの強化(電話会議等)																																					
																			ROA Prv: 3.0% Cur: 2.6%	販管費率 Prv: 40.8% Cur: 34.1%	研究開発費率 Prv: 3.8% Cur: 3.1%	テーマの絞り込み 優先順位	開発	・新素材の開発 ・IoTの取り組み ・エアレーション他技術開発 ・マスク次期モデル開発	・ナノファイバー-製エアフィルタ製品化加速 ・各得意先各種センサー試験品供給 ・産学連携による新素材開発の加速																														
																										投下資本回転率 Prv: 0.6 Cur: 0.8	人件費率 Prv: 16.1% Cur: 14.0%	最適な人員構成	人事・総務	・タレントマネジメント制度策定・運用	・次世代マネジメント層の発掘 ・製品開発に向けた研究要員の増員 ・事業再編にかかる職業専門家スタッフの採用																								
																																運転資本回転率 Prv: 3.0 Cur: 8.5	売上債権回転率 Prv: 3.9 Cur: 4.0	債権管理	営業 財務経理	・債権回収率の改善	・運転資金改善に向けた債権回収の効率化・合理化対応																		
																																						固定資産回転率 Prv: 1.6 Cur: 1.9	棚卸資産回転率 Prv: 5.4 Cur: 5.4	適正在庫の設定	生産 営業	・全社棚卸資産の圧縮	・棚卸資産のバレット分析に基づく適正在庫量の決定ならびに削減計画の実行中												
																																												有形固定資産回転率 Prv: 2.0 Cur: 1.7	仕入債務回転率 Prv: 5.4 Cur: 4.6	債務管理	SCM 生産	・ワーキングキャピタル改善	・運転資金の改善に向けた債務支払い回転率の適正化						
																																																		無形固定資産回転率 Prv: 43.1 Cur: 58.7	有形固定資産回転率 Prv: 2.0 Cur: 1.7	設備計画 (R&D・生産)	経営企画 総務・生産・開発	・投資回収効果最適化	・投資収益回収期間の妥当性分析による開発及びR&D投資、優先判断の実行

2022年3月期 通期業績予想

建機用フィルタ事業

- 世界的な輸送ロジスティクスの混乱による海上輸送費や航空運賃といった物流コストの継続的な高騰や、原材料価格高騰の影響に伴う製造原価の増加が見込まれる
- 日本、北米、欧州各国における、主要得意先各社の生産活動の回復に伴う新車需要の急激な回復や稼働時間の増加により、大幅な増収増益となり、今後も堅調な推移を見込み通期業績予想を上方修正

エアフィルタ事業

- テレワークの普及に伴うオフィスビルの稼働率の低下に伴うフィルタ交換需要の減少による減収
- セールスマックス等の影響による減益が見込まれるため通期業績予想は下方修正

ヘルスケア事業

- 性能品質の確かな国産品を望む消費需要が堅調にあるものの、安価で使い捨ての海外不織布マスクの需要拡大が顕著であり、売上高は低調に推移
- 医療用マスク市場においては長期的な視点で同市場の開拓を進める
- マスク量産体制については、第2四半期に導入した全自動化ラインの導入による原価低減や事業の構造改革で収益改善を第3四半期以降見込むものの通期では減収減益見通しのため、通期業績予想は下方修正

		2021/3期 実績	2022/3期 期初予想	2022/3期 修正予想	差異
		金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	増減額 (百万円)
売上高		14,587	16,600	18,400	1,800
	建機用フィルタ*	10,970	12,000	15,000	3,000
	エアフィルタ	2,607	3,000	2,500	△500
	ヘルスケア	1,009	1,600	900	△700
営業利益		△145	1,500	1,700	200
	建機用フィルタ*	1,289	2,307	3,355	1,047
	エアフィルタ	123	400	35	△365
	ヘルスケア	△150	240	△200	△440
	全社費用	△1,408	△1,447	△1,490	△42
	営業利益率	△1.0%	9.0%	9.2%	0.2Pt
経常利益		△135	1,470	1,680	210
	経常利益率	△0.9%	8.9%	9.1%	0.2Pt
当期純利益		750	960	750	△210
	当期純利益率	5.1%	5.8%	4.1%	△1.7Pt
為替レート (円)	USD	106.1	105.0	110.0	3.7%
	EUR	123.7	125.0	130.0	5.1%

※「建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含みます

*各セグメントの業績及び全社費用をよりの確に把握するため、当社の各報告セグメントに帰属しない本社及び一部子会社の管理部門の一般管理費等の全社費用につきましては、全社費用を別掲することにより、当連結会計年度より、所定のセグメントに配賦しない方法に変更しております

	2021/3期 実績		2022/3期 期初予想		2022/3期 修正予想		差異	
	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	増減額 (百万円)	増減率
建機用フィルタ	9,713	66.6%	10,748	64.7%	13,600	73.9%	2,851	26.5%
ライン品	4,178	28.6%	4,690	28.3%	5,700	31.0%	1,009	21.5%
補給品	5,534	37.9%	6,057	36.5%	7,900	42.9%	1,842	30.4%
産業用フィルタ	470	3.2%	464	2.8%	500	2.7%	35	7.7%
プロセス用フィルタ	786	5.4%	787	4.7%	900	4.9%	112	14.2%
建機用フィルタ 合計	10,970	75.2%	12,000	72.3%	15,000	81.5%	3,000	25.0%
エアフィルタ	2,607	17.9%	3,000	18.1%	2,500	13.6%	△500	△16.7%
ヘルスケア	1,009	6.9%	1,600	9.6%	900	4.9%	△700	△43.8%
売上高合計	14,587	100.0%	16,600	100.0%	18,400	100.0%	1,800	10.8%

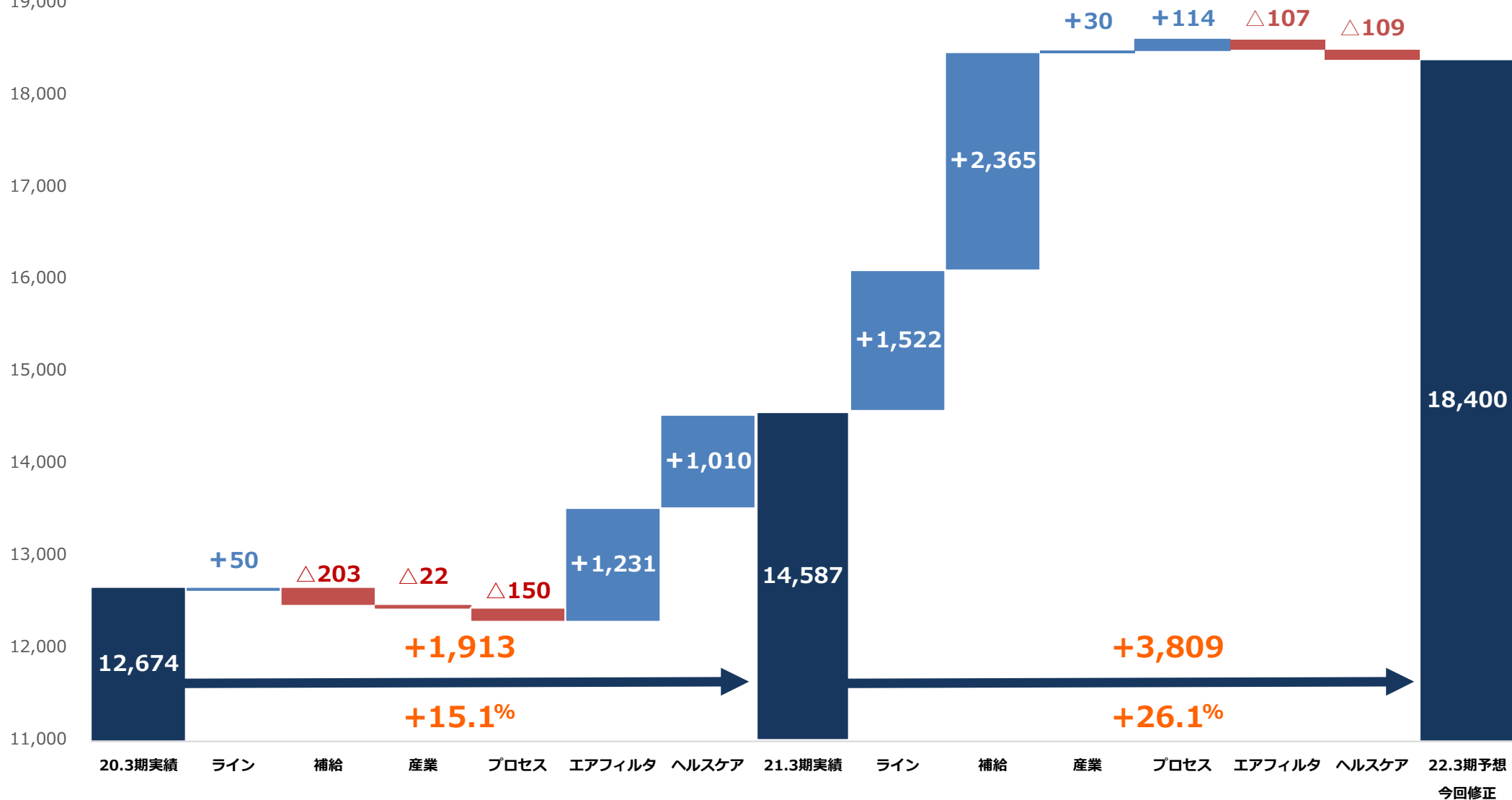
	2021/3期 実績		2022/3期 期初予想		2022/3期 修正予想		差異	
	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	増減額 (百万円)	増減率
建機用フィルタ*	10,970	75.2%	12,000	72.3%	15,000	81.5%	3,000	25.0%
国内	5,019	34.4%	5,437	32.8%	7,216	39.2%	1,779	32.7%
北米	1,915	13.1%	2,226	13.4%	2,790	15.2%	563	25.3%
中国	1,552	10.6%	1,727	10.4%	1,882	10.2%	155	9.0%
アジア	1,235	8.5%	1,311	7.9%	1,683	9.2%	372	28.4%
欧州	1,243	8.5%	1,296	7.8%	1,376	7.5%	79	6.1%
その他 (中東他)	3	0.0%	0	0.0%	50	0.3%	50	-
エアフィルタ (国内)	2,607	17.9%	3,000	18.1%	2,500	13.6%	△500	△16.7%
ヘルスケア (国内)	1,009	6.9%	1,600	9.6%	900	4.9%	△700	△43.8%
売上高合計	14,587	100.0%	16,600	100.0%	18,400	100.0%	1,800	10.8%

※「建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含みます

* 当社は請求書送付先基準のため、実際の地域別市場動向と差異が出ます

売上高の増減要因 (2022.3期見通し)

(単位：百万円)
19,000

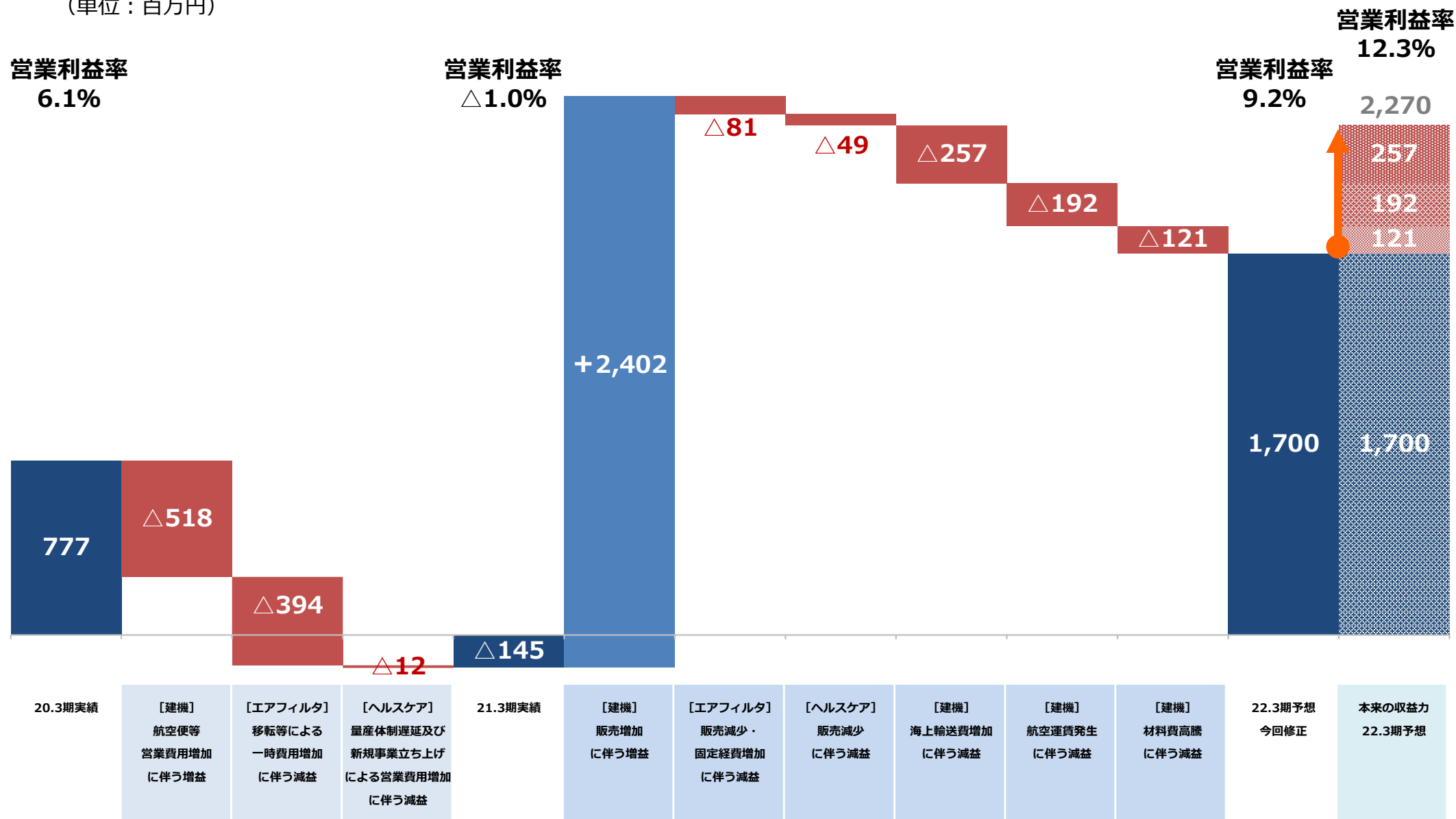


建機用
フィルタ

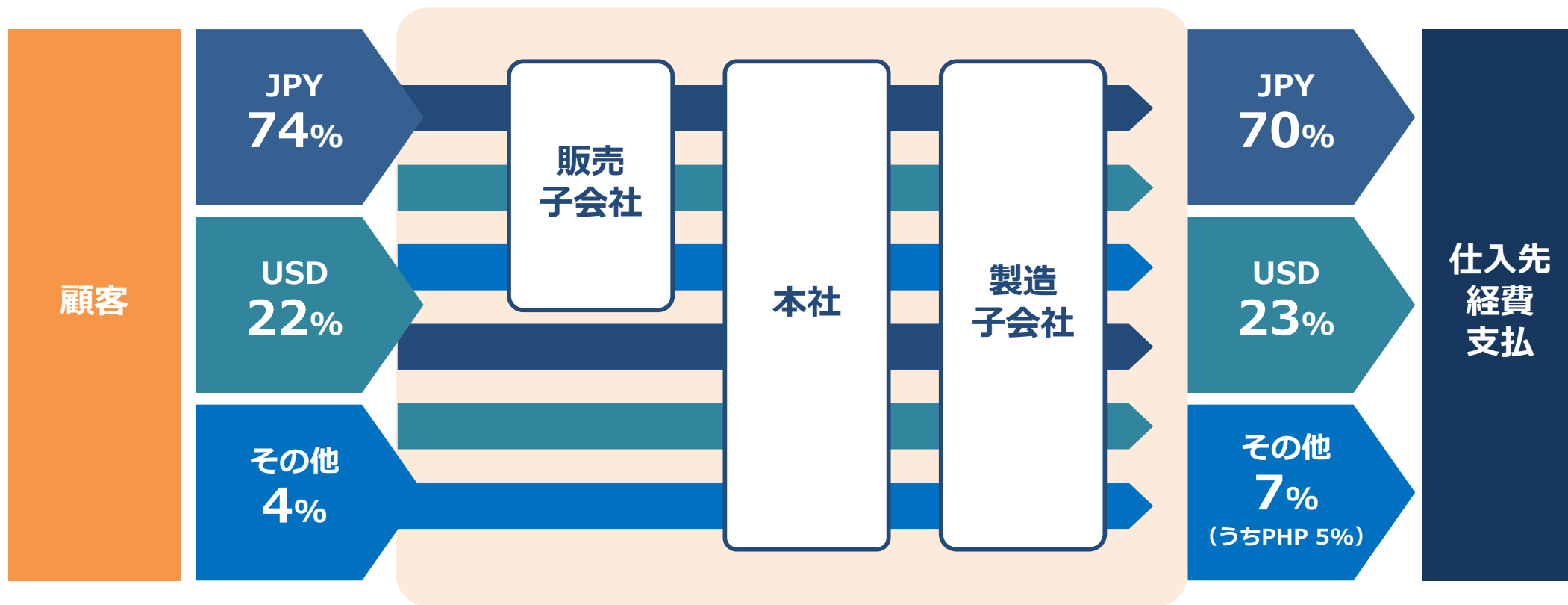
建機用
フィルタ

営業利益の増減要因 (2022.3期見通し)

(単位：百万円)



為替は完全マリーが継続している。



取引通貨の8割は J P Y

U S Dは為替マリーを実現

- 為替が 1 円円高になった場合の営業利益影響額は約 7 百万円増益

中間配当3.0円、期末配当3.0円の年間6.0円

	19年3期	20年3月期	21年3月期	22年3月期 予想
1株当たり 年間配当金	6.0円	6.0円	6.0円	6.0円
DOE ^{※1}	2.4%	2.3%	2.2%	2.1%
総還元性向 ^{※2}	31.9%	72.3%	59.3%	59.7%

※1 DOE（株主資本配当率）＝（年間配当総額÷株主資本）×100＝（ROE×配当性向）

※2 総還元性向＝{(配当金総額＋株主優待＋自己株式取得)÷親会社株主に帰属する当期純利益}×100

環境

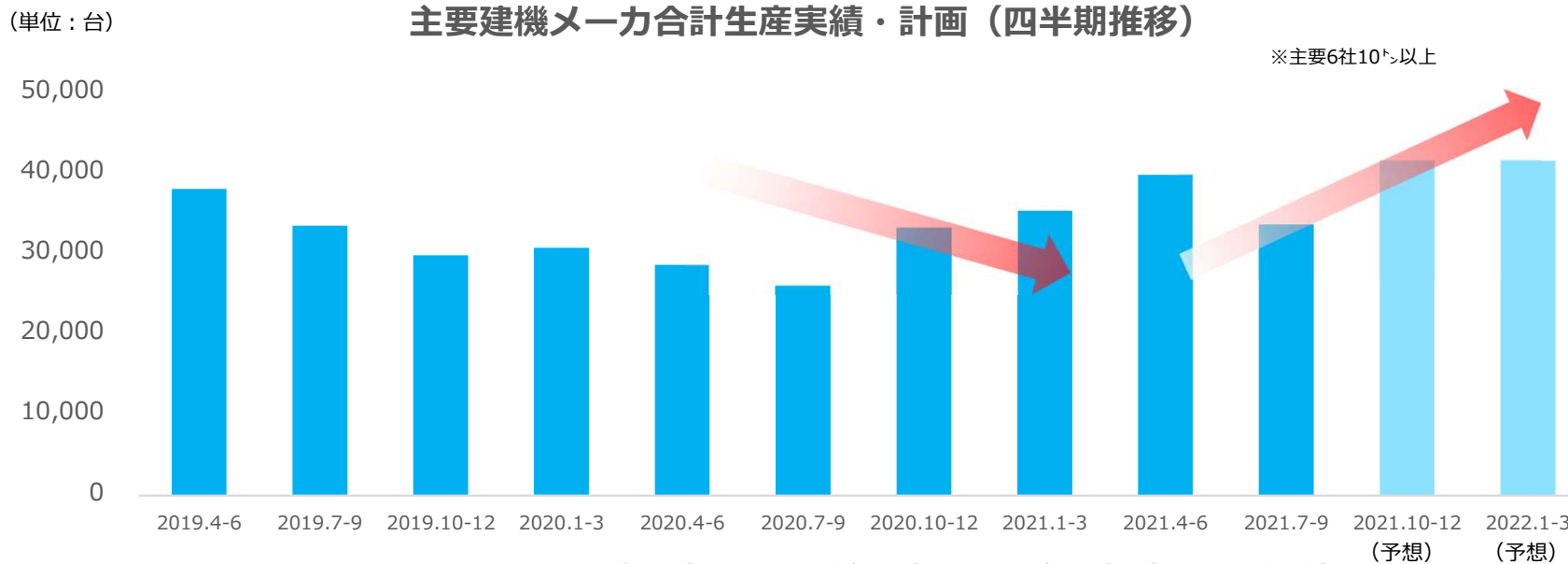
Ⅱ 市場を取り巻く環境

“建機市場を取り巻く環境”

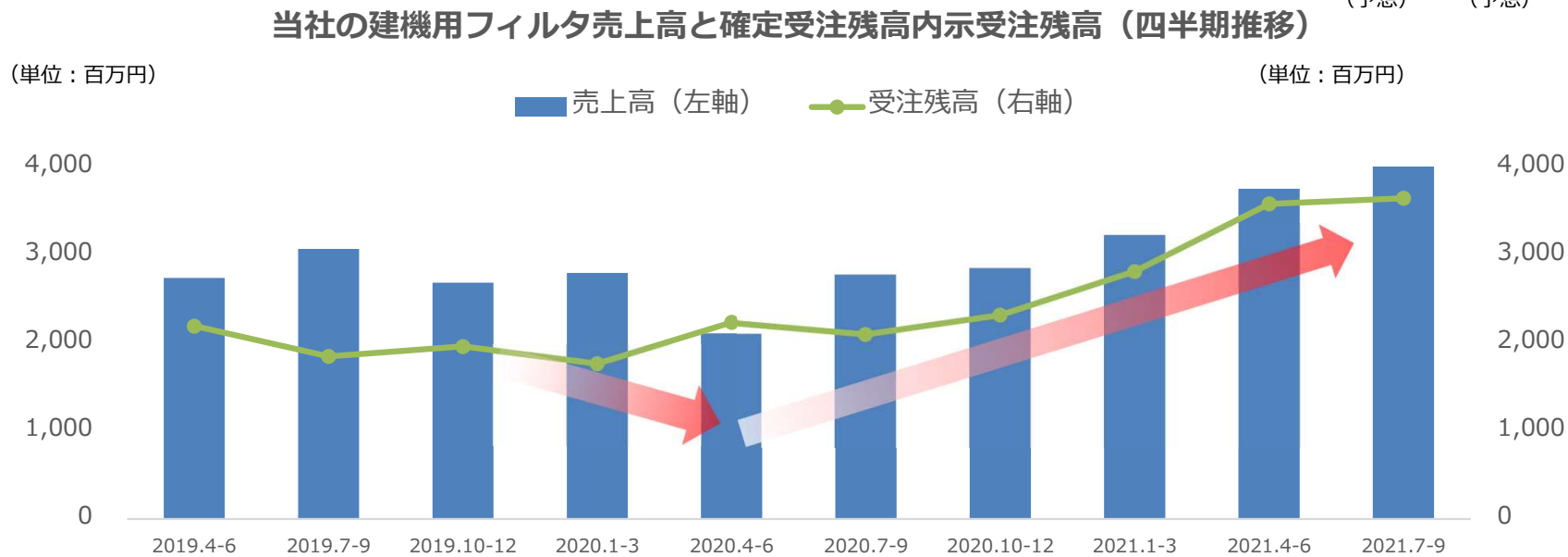
- 各種資源価格が高水準で推移した結果、各地の需要が大幅に伸長した
- 中国に不透明感が残るものの、全地域で良好な事業環境

	2021/3 Q4	2022/3 Q2	今後の見通し
日本	COVID-19感染拡大の影響が少なかった公共工事を中心に建機の需要は堅調に推移	COVID-19の影響が残るものの、建機の稼働時間の顕著な増加と新車需要が急激に回復	土木系は増加基調、住宅投資及び民間設備投資は下期に向けて回復し、建機の需要は増加を見込む
北米	主要得意先各社の生産活動は再開され需要は増加、COVID-19感染拡大前の水準に戻りつつある	COVID-19の政府施策により回復、建機の稼働時間新車販売台数が大幅に伸長	COVID-19感染拡大前の水準に戻り需要は大幅な増加を見込む
欧州	COVID-19感染拡大前の影響から回復基調	建機の新車需要、レンタル需要共に建機の需要は増加	COVID-19感染拡大前の水準に戻り需要は大幅な増加を見込む
東南アジア	主要得意先各社の生産活動は再開、建機稼働時間も底打ち感があり通常オペレーションへ回復基調	COVID-19の影響が残るものの建機稼働時間が増加、通常オペレーションへ回復	COVID-19による、ロックダウン懸念は残るが、経済活動の再開に伴い建機需要の回復を見込む
中国	経済活動の本格的な再開に伴い、産業補助金拡大による政府主導の投資促進策や消費刺激策の効果に伴い新車需要が大幅に増加	新車販売台数が過去最大を記録した前年度に比べ、やや減少するものの依然として高水準	不確定要素は残るものの政府による経済活性化のための積極財政、環境規制対応に向けた新車駆け込み需要により引き続き堅調を見込む

● 好調なマクロ環境を受けて、建機需要も順調に伸長



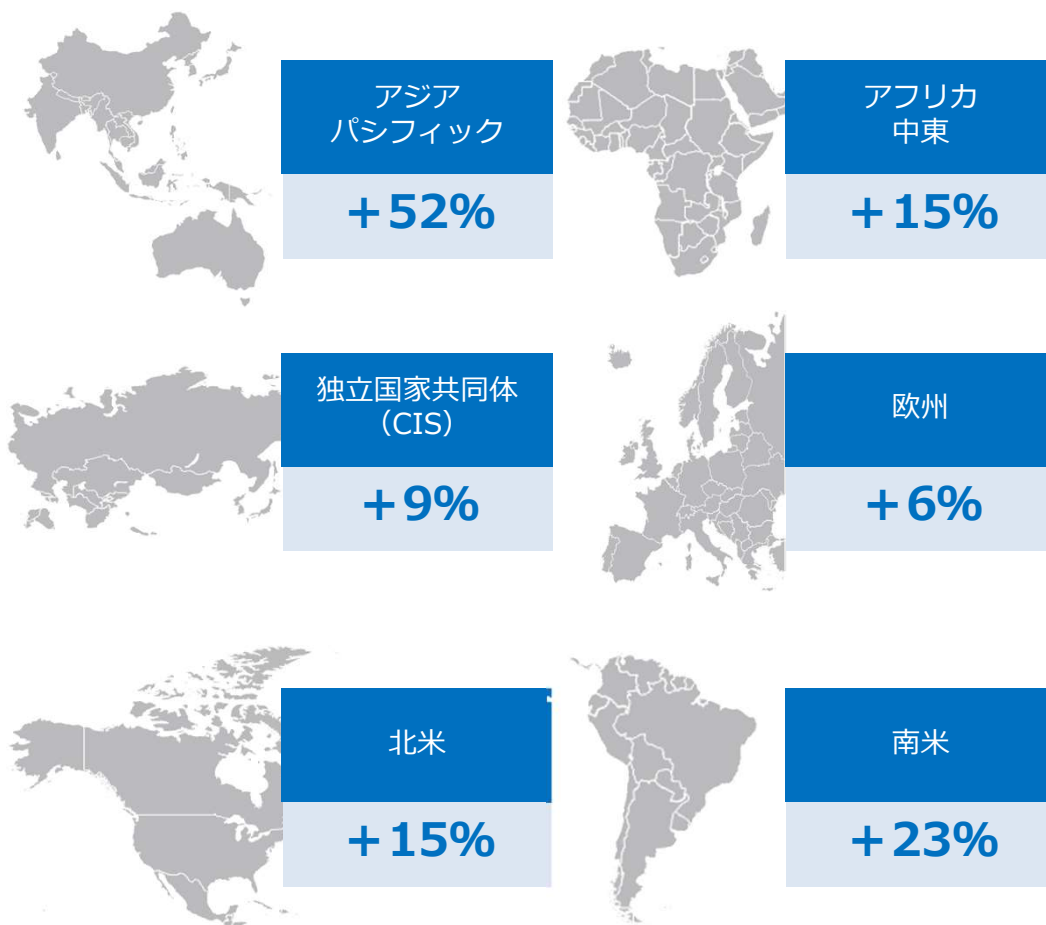
需要増を受け
生産計画は
順調に増加



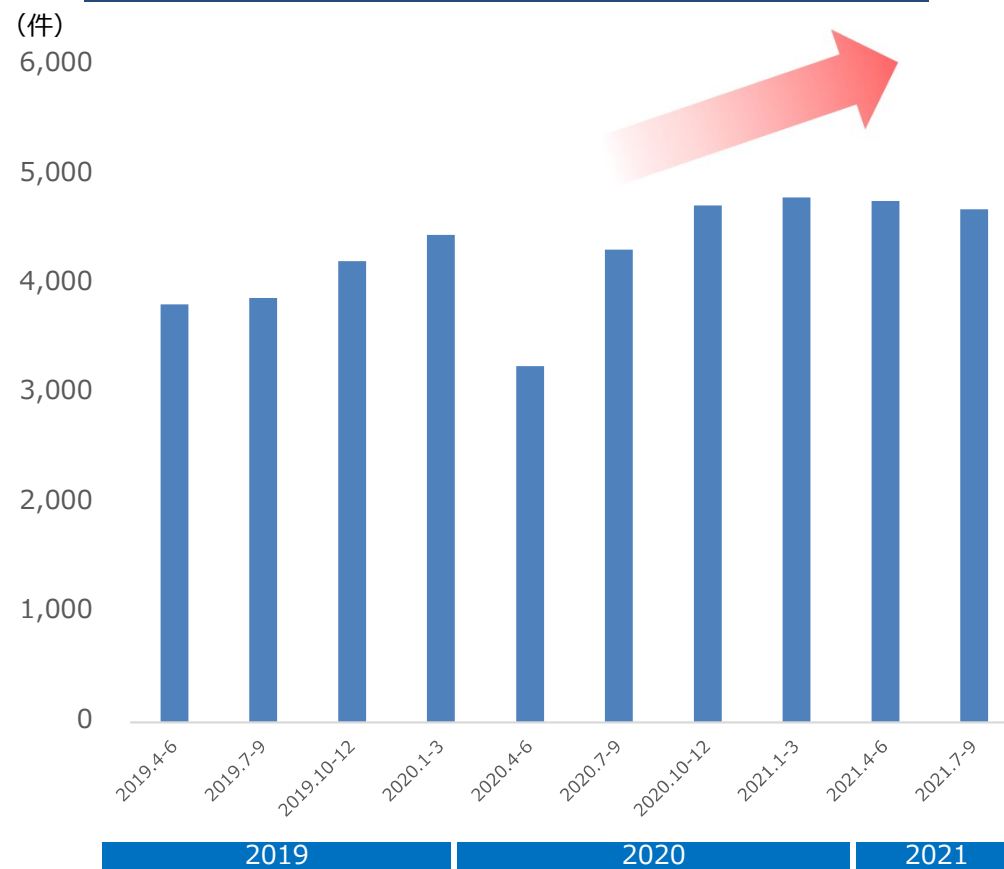
ロジスティックの
遅延影響は
あるものの
受注残高は
過去最高水準

- 特にCOVID-19の政府施策により、北米における住宅着工件数は大幅に伸長
- 昨年に縮小した代理店在庫（機体・部品）のリバウンドから需要は急回復

地域別 建機需要の動向（指数）



北米市場 住宅着工件数の推移



(Bureau of the Censusより当社作成)

- 更なるプレゼンスの獲得を目指し、新工場を設立。
北米地域への安定供給と、営業拠点とのコアワークによる相乗効果を目指す

北米大手建機メーカー様のシェア情報

■ 油圧フィルタシェア

	2020	2021	増減
車両建機	27%	39%	12%
鉱山建機	11%	20%	9%
林業機械	30%	30%	0%

■ TMフィルタシェア

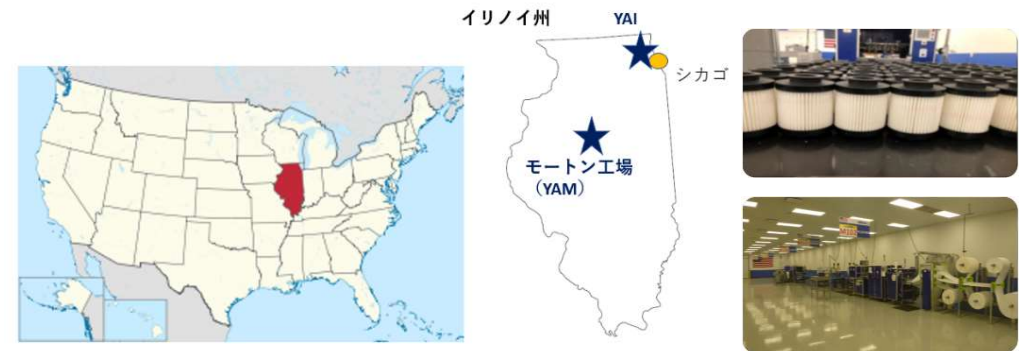
	2020	2021	増減
車両建機	82%	88%	6%
鉱山建機	45%	56%	11%
林業機械	62%	70%	8%

■ その他フィルタシェア

	2020	2021	増減
車両建機	12%	17%	5%
鉱山建機	9%	12%	3%
林業機械	18%	15%	-3%

ヤマシン・アメリカ・モートン工場

BCP観点からの安定供給



北米顧客に対するクイックなレスポンス

量産品の納期改善はもちろん、サンプル製作の現場に顧客生産技術や生産部門が立ち会える環境が整備されることで、ユーザビリティが大幅に向上、更なる受注獲得のための、競争優位条件を目指す。



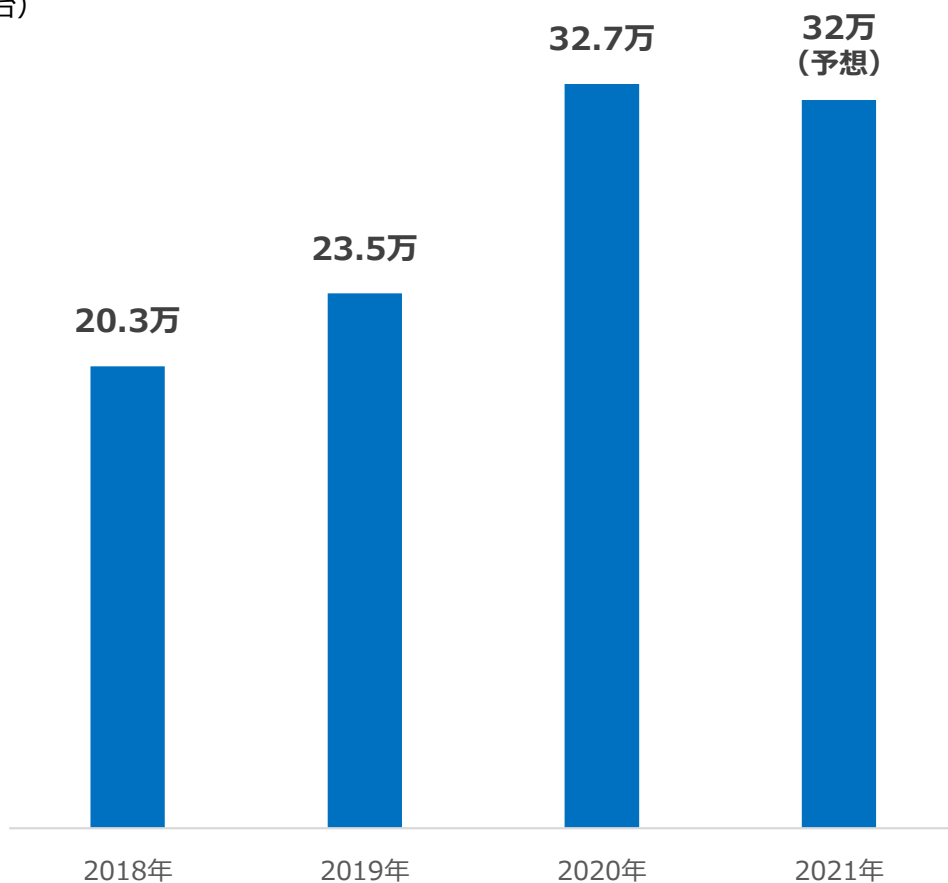
- 当社製品のシェア拡大を図るため、建機用フィルタ培ったヤマシンブランドを新たな分野へ横展開を実施。



- 販売台数は20年と同程度見込むが、22年は排ガス規制開始もあり不透明な状況

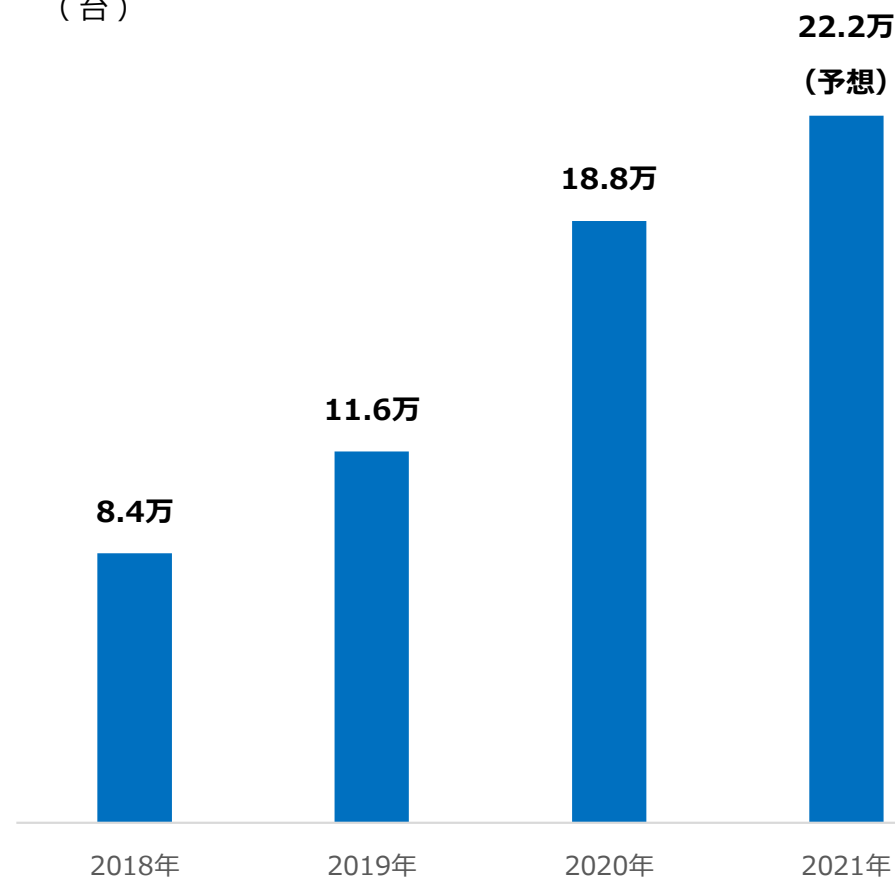
年間販売台数推移

(台)



主要中国建機メーカー3社生産台数（計画）

(台)



- 延期となっていたTier4排気規制規定が、2022年12月より実施が決定。

モデルチェンジ機会の獲得 (排ガス規制対応)

排ガス規制の状況



(中国生態環境部からの交付資料)

【Tier4排気規制規定】
中国生態環境部より、非道路柴油移動機械汚染物排気Tier4規定を公布

2022年12月1日より正式に実施、560KW以下の柴油エンジンの中国国内生産/輸入の販売がこの規制に従う。

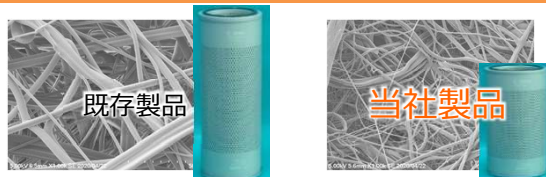
各社モデルチェンジが必要

求められるのはロングライフと小型化

現地メーカーが求める
フィルタ性能の要素

ロング
ライフ

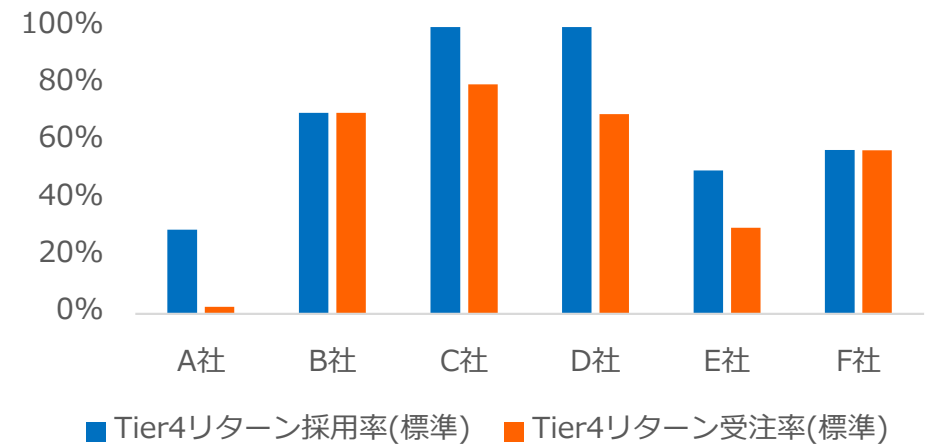
小型化



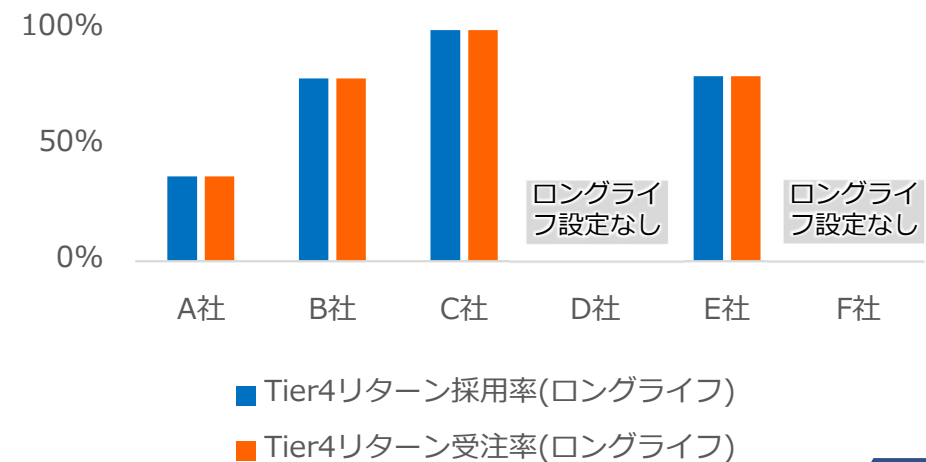
(ろ材性能と大きさのイメージ図)

ロングライフ化には「ろ材性能」の高さが求められるため、
当社の技術力は大きな強み。

次期モデルの採用状況 (主要製品)



次期モデルの採用状況 (ロングライフ製品)



- クライアントである小松製作所様よりグランドパートナー賞を受賞。
- ナノファイバーを搭載したロングライフ油圧フィルタを開発し、いち早く市場に投入したことが評価。

受賞当日の様子



受賞概要

2019年度グランドパートナー企業

開発部門

ヤマシンフィルタ(株) 代表取締役社長 山崎 敦彦 様

貴社は 継続的な原価改善に留まらず コマツの
顧客視点も考慮したTCO改善に寄与できる
フィルタの交換サイクル延長を実現した新商
品を提案頂くなど 多大な貢献を頂きました
よって その功績を称え グランドパートナー賞
開発部門賞として表彰します

KOMATSU TCO



- フィルタ専門メーカーの知見とトップシェアを最大限活用したナレッジ蓄積
- これまでアナログ対応だった差別化要素をデジタル化して更に競争力を強化

センサー活用で獲得できるデジタル情報

センサーから送られるデジタルデータを活用し、最適なソリューションを提供。



SWIFTROCK™

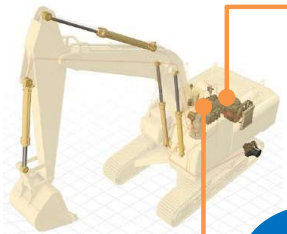


【特徴的な機能】

- オイル汚染度の監視
- 単品で機能完結

【達成できること】

- 異常の早期発見
→ **修理代の最小化**



FILTER SAVER™



【特徴的な機能】

- フィルタ寿命予知
- 純正率の見える化

【達成できること】

- 需要の可視化
→ **戦略的な在庫計画**

当社が目指すDXのあるべき姿

各地域の使用データを集約、データに基づきユーザ・メーカーの特性にあわせた戦略を立案。



グローバルな情報集積企業の地位確立

“エアフィルタ市場を取り巻く環境”

- 空気の品質に関心が高まり、総合フィルタメーカーとしての強みを活かせる外部環境
- 差別化された高付加価値技術で、ユーザーコストに競争力がある環境配慮型製品を供給

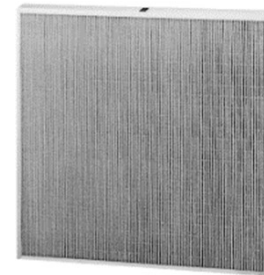
NanoWHELP



・ MERV14・15・16を取得済

世界初ナノファイバー製エアフィルタ

低圧損で高捕集率のナノファイバー製中性能のエアフィルタ。オフィスビル、工場、鉄道車両、家電等への供給を強化



HEPA、ULPAフィルタ開発

低圧損で高捕集率、低コストのHEPA、ULPAフィルタ。オフィス/学校/病院/路面店などへ積極展開。

溶菌酵素フィルタ



抗ウイルス用フィルタとして特化

NanoWHELP・溶菌酵素フィルタが社会に提供できる価値

社会への貢献

健康リスク軽減

温室効果ガス削減

省資源
(ロングライフ)

ユーザーへの貢献

ユーザーコストの低減

企業責任への貢献

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



- COVID-19の影響から縮小した市場にも緩やかな回復基調がみられる
- 需要増加が見込まれる半導体・車両市場に注力する一方で、新分野開拓も進める

	市場概要	市場環境	
		前期	今期見通し
ビル・建物	オフィス・商業ビル等に設置されている外気取入れユニット・屋内空調等のエアフィルタ	オフィス・商業ビルの交換控えが影響して需要減少。	都市部の大型案件を中心に需要は回復基調。新規案件は低調
一般工場	工場に設置されている外気取入れユニット・屋内空調等のエアフィルタ	大型工場は交換控えが発生したが、小型工場の新規受注あり、需要横ばい。	前期と傾向は継続する予想。
半導体工場	ケミカルフィルタの交換市場	在宅勤務を背景に、PC機器を中心に需要増加。	引き続き設備投資が好調
環境機器	一般家庭で使われる住宅空調・空気清浄機のエアフィルタ	COVID-19の影響から、住宅着工件数が減少し、需要減少。	住宅資材の流通減により、着工件数が下降トレンド、需要自体はある。
車両	鉄道等の空調用エアフィルタ 建機の粉塵用エアフィルタ	COVID-19の影響により、公共交通機関の交換控えが発生して、需要微減。	公共交通機関の交換需要が伸びていないが、需要の高まっている建機がカバー

- ロングライフで低圧損を実現した環境負荷低減のための究極のエアフィルタ
- SDGs を掲げる大手顧客への導入・製品展開開始

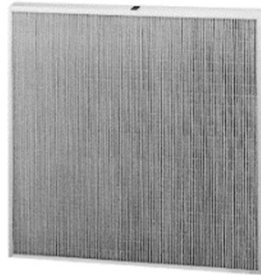
NanoWHELP

世界初のナノフィルタ製
エアフィルタ



MERV14
(米国規格)

ビル空調では
最高レベルのMERV13を超える、
MERV14を認定取得。
日本メーカーの中高性能フィルタの中で
MERV14の認定を取得しているのは、
「NanoWHELP」だけです。

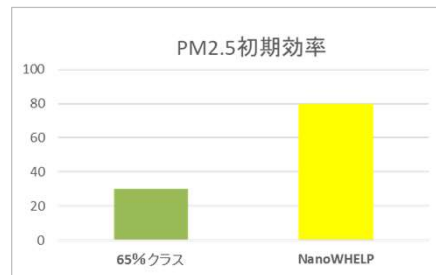


製品特徴

- ヤマシン・ナノフィルタ®の性能を活かし、**持続的な低圧損を実現**
- 日本メーカーの中高性能フィルタで唯一ビル空調最高レベル、**MERV14・15・16を取得済**

PM2.5の捕集効率96%
初期効率80%以上

- 圧倒的なフィルタ性能
- 交換インターが長くコスト減
- 価格競争力



想定市場

データセンターやサーバー室・
IT化された工場・公共施設・医療施設など

導入状況

ホテル& コンサート ホール



立川ステージガーデン（イベントホール）

MERV14規格の取得をきっかけに
販路が拡大、外資系ホテルやコン
サートホールを中心に導入が進む

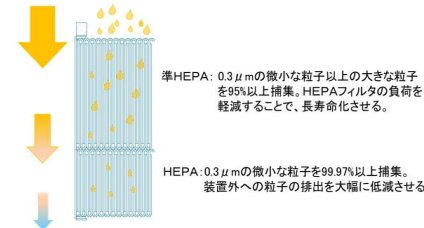
工作機械 利用



低圧損・ロングライフの特性から
工作機械等のオイルミストを対象
としたフィルタで使用用途が拡大。
レガシーな顧客である大手工作機
メーカーと開発が進む。

工場のクリーンルーム

【準HEPAとHEPAを組み合わせた2層構造】



高精度で微細粉塵を捕集することが
求められるクリーンルームにおいて、
NanoWHELPを外気導入・循環空
気に使用することでクリーンルーム
のライフタイム向上に大幅に貢献。

- COVID-19からのリバウンド需要が見込まれるサービス業を中心に導入が進む
- エンドユーザーに直接営業・共同検証を通じて、差別化要素を積極的に訴求

新製品 溶菌酵素フィルタ



製品特徴

- 抗ウィルス用フィルタとして特化、独自製法で性能低下なし。
- 酵素がカビ・微生物のタンパク皮膜（細胞壁など）を破壊、2次汚染リスクを解消

ウィルス対策として幅広い市場に投入可能

- 薬剤塗布と異なる独自製法のため、性能低下がない
- 天然物質を使用しているため、基準が厳しい食品工場などでも展開可能。カビ・微生物に対しても効果を発揮。
- 溶菌酵素で新型ウィルスに代表されるエンベロープ型 ウィルスを不活性化。

想定市場

オフィス/学校/病院/路面店舗/工場など

導入状況

2021年度
3分野
新規開拓

空気清浄への関心の高まりを受け、新分野への開拓が進捗



大手
進学塾

導入済み



大手
漫画喫茶

2店舗同時導入実験を実施。喫煙室、エアコンでの効果が認められ来期導入を予定。



大手
美容室

実地試験中

※現在、大手飲食チェーンなど多数の企業に提案を実施中

“ヘルスケア事業 トピックス”

● ヤマシン・フィルタマスク®のブランド向上を目指し、各種コラボレーション企画を実施

(株)かんぽ生命保険のノベルティ品に「ヤマシン・フィルタマスク®」が採用

顧客一人ひとりの安全・安心に寄与する製品である点が高く評価され、(株)かんぽ生命保険の「ご契約内容確認活動」のノベルティとして「ヤマシン・フィルタマスク®」が採用。



表面：
一人ひとりのお客さまに寄り添い、お客さまの満足と安心に最優先で取り組む「かんぽ生命保険の企業姿勢を表した2種類のオリジナルデザイン



裏面：
「ヤマシン・フィルタマスク®」の特長であるフィルタ性能と洗って繰り返し使える点を訴求

「JR東海鉄道倶楽部」のオリジナルマスク第2弾に採用

2020年に大好況を博した東海道新幹線・新型車両「N700S」をあしらったオリジナルデザインマスク、「N700S新幹線 フィルタマスク」を2021年も引き続き販売。



パッケージイメージ



着用イメージ

内容量・価格：
1パック3枚入3パックセット
3,500円（消費税、送料込）

発売日・販売場所：
10月14日（木）12:00～
JR東海倶楽部HPにて販売
(<https://e-mono.jr-central.co.jp/traingoods/>)

※上記サイトのほか、東海道新幹線主要駅の一部キヨスクでも取り扱い予定

未来

Ⅲ 今後の戦略

ろかじにつかふる

仕濾過事

経営理念



顕在する
様々な社会課題

気候変動

廃棄物処理

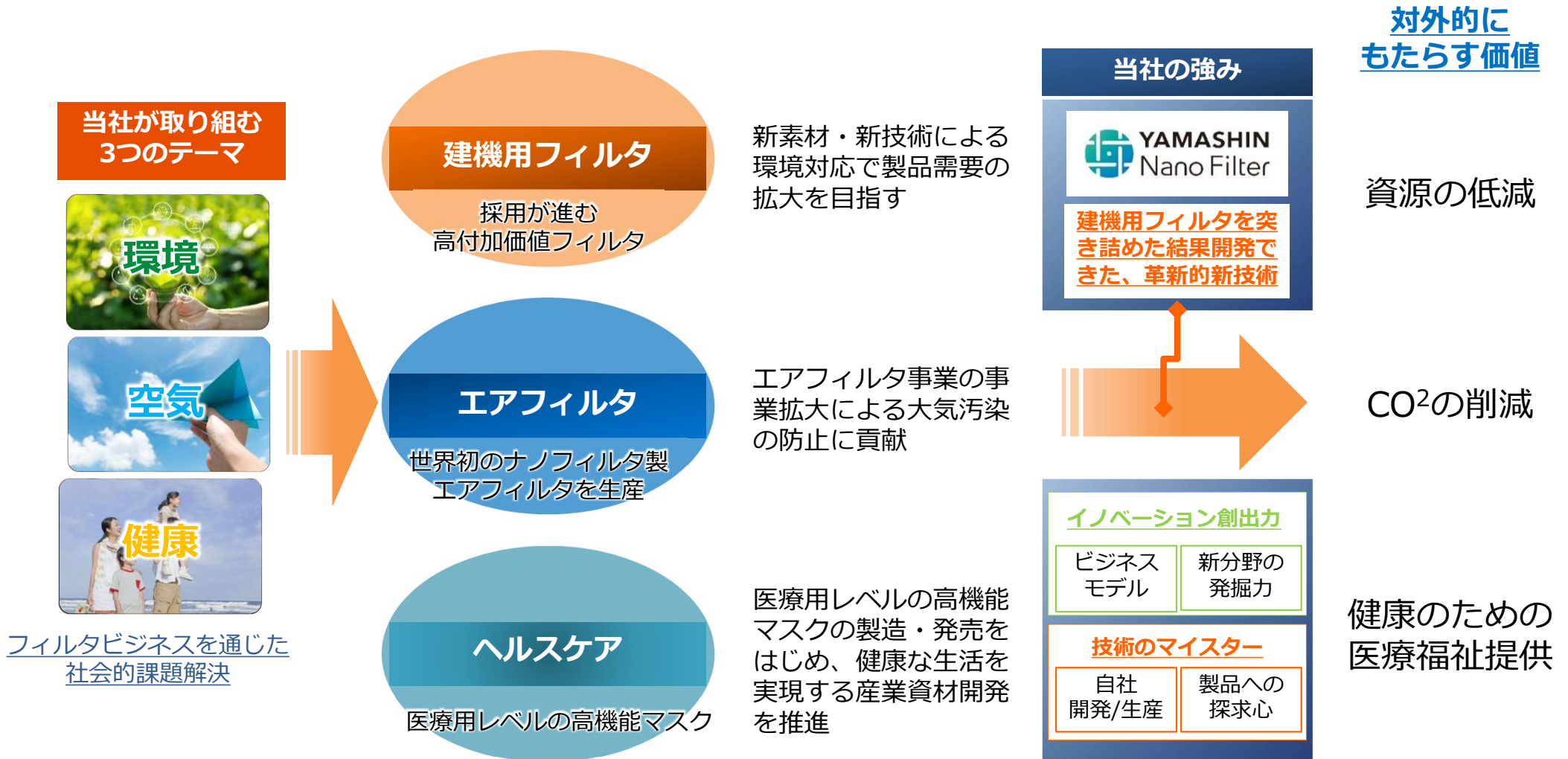
生物多様性の減少

COVID-19の拡大

「仕濾過事」(ろかじにつかふる)を具現化

フィルタビジネスを通じて
社会課題の解決に取り組む

経営理念：「仕濾過事」(ろかじにつかふる)の具現化



ビジネスモデル・強みをサステナブルの観点から強化する ESGプロジェクト（YSS : Yamashin Sustainable Solutions）が始動

YSS

名称 : Yamashin Sustainable Solutions

（発足時のテーマ）

社会課題解決と事業機会の創出 :

（検討の方向性）

・環境・気候変動などの社会課題解決に向けて、ヤマシンが資する技術・製品を活かし、CO2の削減、産業廃棄物低減等にご貢献を目指すための施策の検討。

・将来的に定量的なKPIなどの算出。

【重点的製品】

建機用フィルタ : ナノフィルタ製リターンフィルタ

エアフィルタ : ナノフィルタ製エアフィルタ
(NanoWhelp)

ヘルスケア : ナノフィルタ製マスク

取り組むべき重点課題

サステナビリティに関する全社方針や目標の策定、それらを実践するための体制の構築・整備の推進。

今期の成果物



ESGへの現在の取り組み状況をまとめた報告書「サステナビリティレポート 2021」を2021年10月に発行

建機用フィルタのヤマシン・ナノフィルタ®への切り替えが2024年3月期より順次開始、大幅な増収を見込む。

ヤマシン・ナノフィルタ®



売上単価は既存製品の
約2倍
中長期的な収益の柱に成長




Iotセンサ

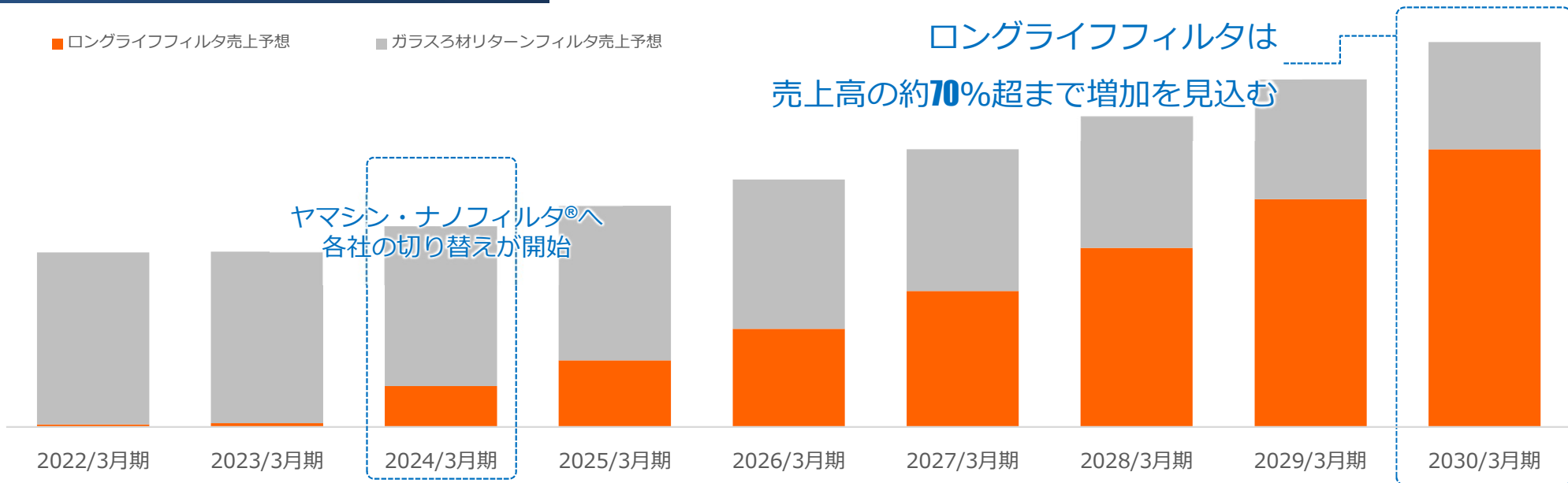


フィルタ寿命や作動油の汚染度をセンサーで測定。フィルタの価値を一層高める



ナノフィルタ製のフィルタの売上予想

■ ロングライフフィルタ売上予想 ■ ガラスろ材リターンフィルタ売上予想



ヤマシン・ナノフィルタ®へ各社の切り替えが開始

ヤマシン・ナノフィルタ®の性能を活かし、環境配慮型製品を積極的に展開。
中期的に売上規模50億円を目指す。

技術のマイスター

(製品力)

NanoWHELP
世界初ナノフィルタ製
エアフィルタ



YAMASHIN
Nano Filter™

モノづくりのカ

(ケイパビリティ)

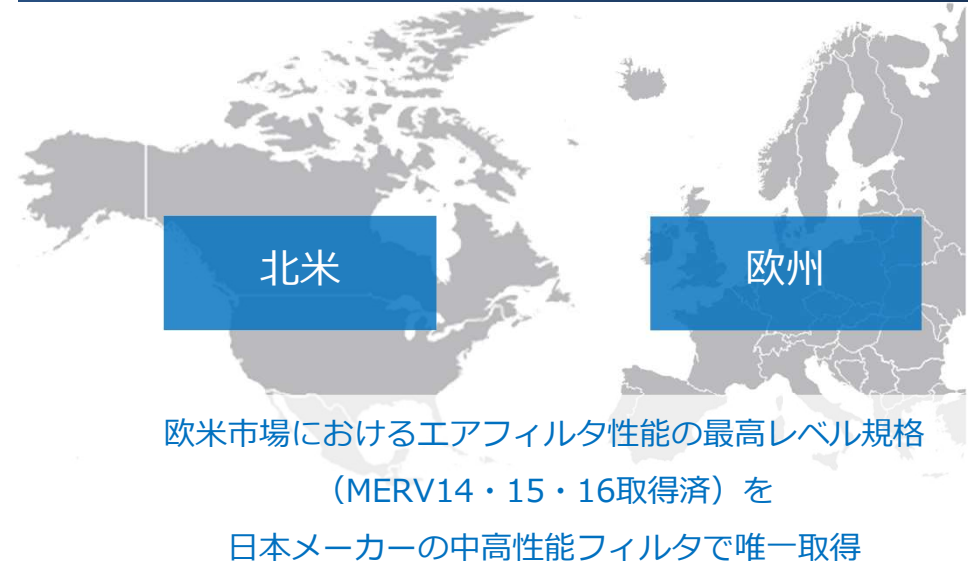
社内体制の強化

- ・SAPの導入
- ・人員の最適化
- ・販売網の見直し

社会に提供できる価値



今後展開を目指す市場



中期的に売上高
50億円を目指す

バリューチェーンの向上

バリューチェーンの強化により、
本来の収益力である

**営業利益率20%を
中期的に達成を目指す**

強化する施策

1

建機用フィルタビジネス

PAC21、航空運賃の抑制、固定費削減、経費削減による収益性改善

2

エアフィルタビジネス

YCF生産移管、SAP導入（原価管理体制強化）による製造原価低減PAC21、固定費削減による収益性改善、不具合低減

3

ヘルスケアビジネス

マスク生産設備投資による製造ライン自動化、省力化による固定費削減、製造原価低減販売促進費、広告宣伝費等の効率運用

4

サプライチェーン強化

生産拠点再編（新佐賀工場、ベトナム工場（新設）、北米工場）生産能力大幅増強、製造コスト低減

サプライチェーンの強化

**開発・生産体制を再編、
新施設が稼働**

一極集中生産体制から、
マルチプル生産体制への移行、
より強固なサプライチェーン体制を構築。

開発施設



横須賀イノベーションセンター



分散していた研究開発拠点を集約、新素材の用途開発を加速

生産体制



佐賀新工場



ヤマシン・アメリカ・モートン工場

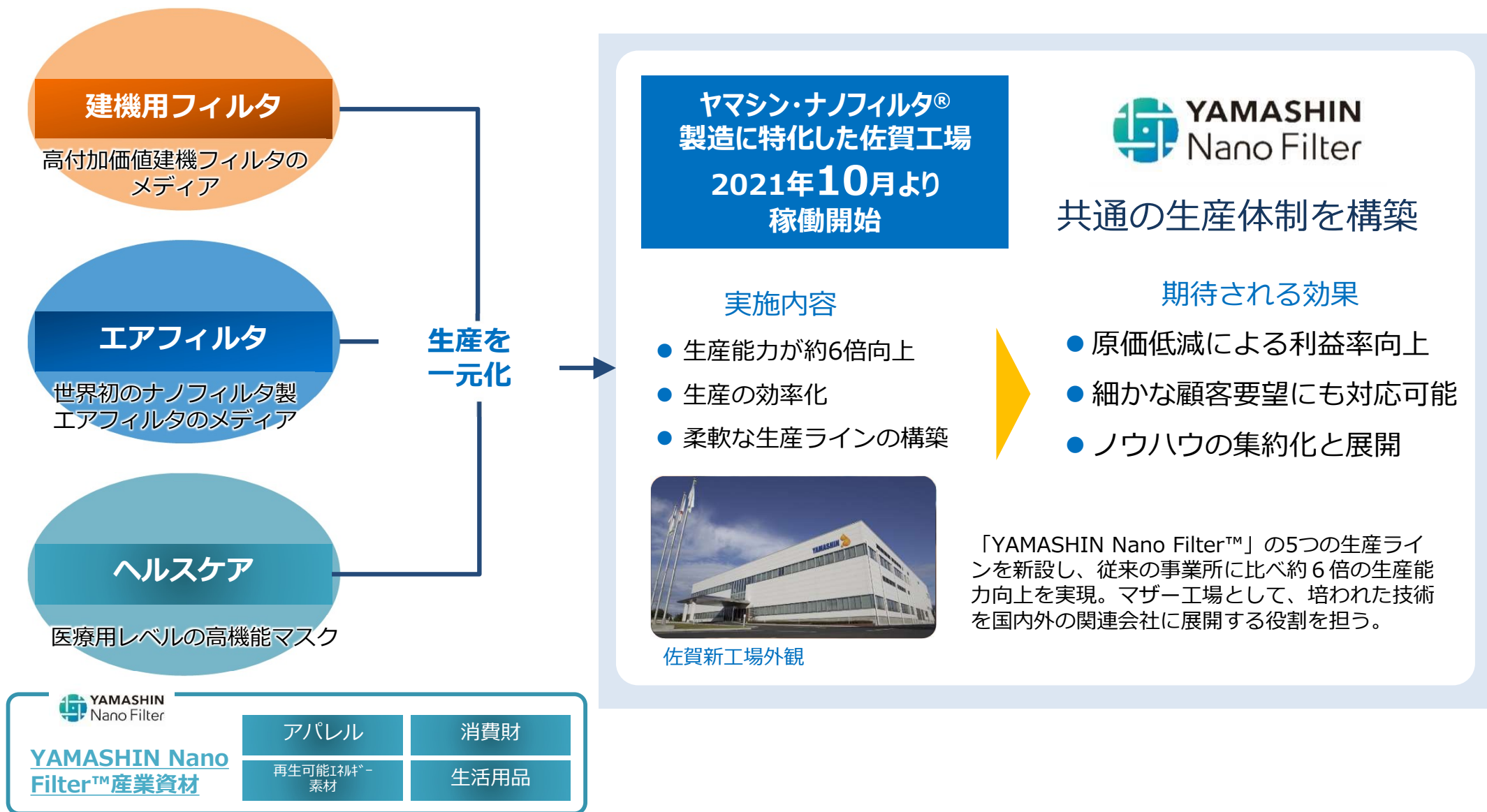


ベトナム新工場



セブ工場

ヤマシン・ナノフィルタ®に適した効率的な生産体制を構築。



建機用フィルタ

YCF (生産)

YST (販売・R&D)

YAI (販売・生産)

YTL (販売)

YEB (販売)

The Specialist in Filtration
YAMASHIN

建設機械フィルタの専門メーカーから
「総合フィルタメーカー」へ
飛躍を加速



YAMASHIN Nano Filter™産業資材

ヘルスケア

アパレル

消費財

再生可能
I初級-素材

生活用品



エアフィルタ








(販売・生産)

目次

参考資料

① 当社基本情報

当社グループは、フィルタのキーパーツである「ろ材」の主な材料であるガラス繊維や不織布及びフィルタの構成部品に使用される金属加工品や樹脂加工品等の仕入を行い、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタ、エアフィルタを製造しております。また、当社独自に開発した合成高分子系ナノファイバーを用いたオリジナルマスク及び取替用インナーシートの製造・販売を2020年5月より開始し、2020年7月よりヘルスケア事業を新しい事業セグメントとして加えております。

分野	取扱製品	製品イメージ	売上構成 2022年3月期業績予想
建機用フィルタ	建機の駆動に不可欠である油圧回路の作動油、燃料のディーゼル・オイル、エンジン駆動に必要な潤滑油のろ過に用いられるフィルタ 用途: 様々な種類の建機		
産業用フィルタ	様々な業界に応用されている油圧ユニットの作動油や潤滑油のろ過に用いられるフィルタ 用途: 工作機械、冷凍用圧縮機、農業機械、船舶、鉄道車両、航空機やヘリコプター等の産業機械		
プロセス用フィルタ	顧客製品の製造工程で行われるろ過・分離に必要なフィルタ 用途: 電子部品、精密部品、液晶ディスプレイや食品等の業界		
エアフィルタ	粗塵、中高機能のエアフィルタ 用途: 一般ビル、ホテル、各種工場等の除塵・脱臭等		
ヘルスケア	合成高分子系ナノファイバーの特性である高捕集性能、密閉性、通気性を活かした高機能マスク、取替用インナーシート 用途: 国内外の一般消費者向け		

建設機械の稼働に不可欠なフィルタ 多様多彩なラインナップを提供

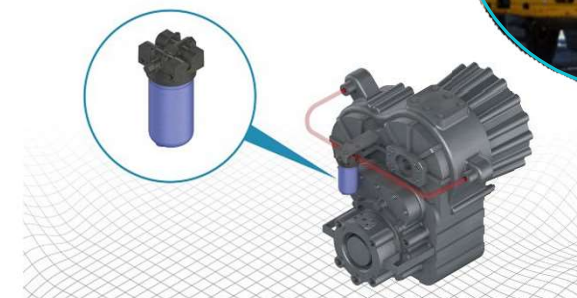
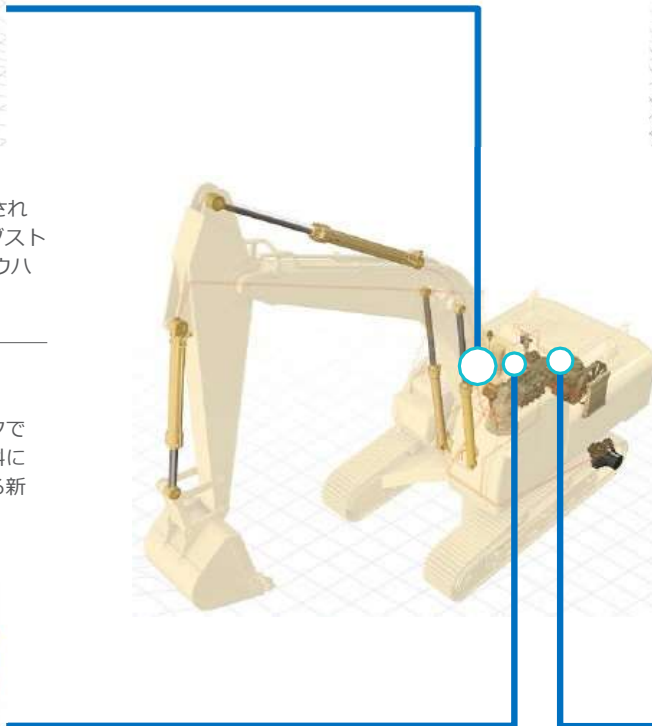
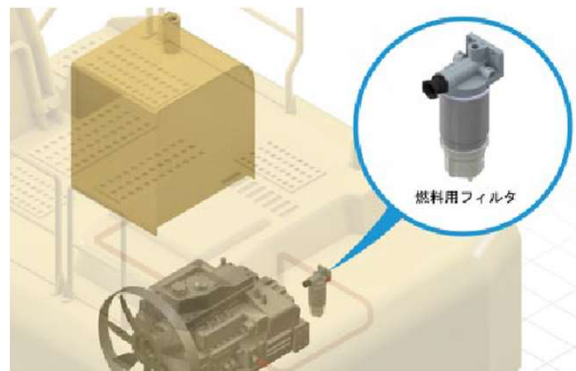


油圧用

シリンダー等の油圧機器の保護を目的に、建機に複数搭載されるフィルタです。建機の故障の原因は、約7割がオイル内のダストによる機器破損といわれています。当社では、創業以来のノウハウで最適なフィルタを提供しています。

燃料用

ディーゼル燃料に混入したダストの除去を目的としたフィルタです。昨今、世界的に進んでいる排ガス規制をきっかけに、燃料に求められる清浄度が高まっています。粗悪燃料が蔓延している新興国では、特に需要増が見込まれています。

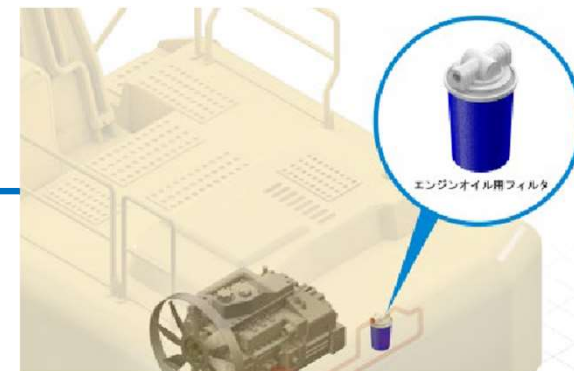


変速機用

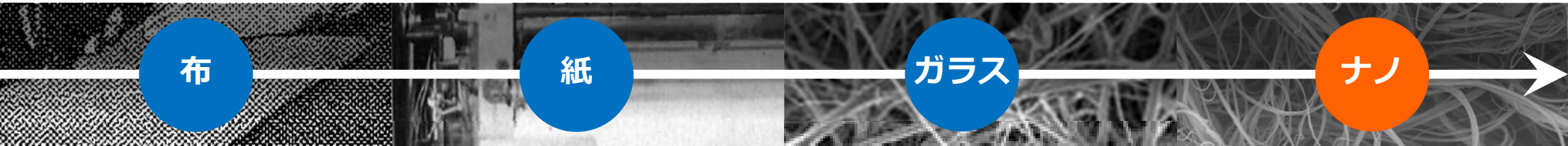
変速機（変速機）機構を持つ建機に搭載されるフィルタです。変速機は複数のギアで構成されるため、ギア同士の摩擦で金属粉等のダストが発生します。当社では自社製「ろ材」によってこのダストを適切にろ過し、機器のダメージを防ぎます。

エンジンオイル用

建機の各種エンジンに搭載されるフィルタです。エンジンの内部では動力を発生させるためにピストン等が高速運動をしています。エンジンオイル用フィルタは、その際に混入する摩耗（金属）粉やスラッジ（堆積物）等を除去し、性能低下や破損リスクを低減します。



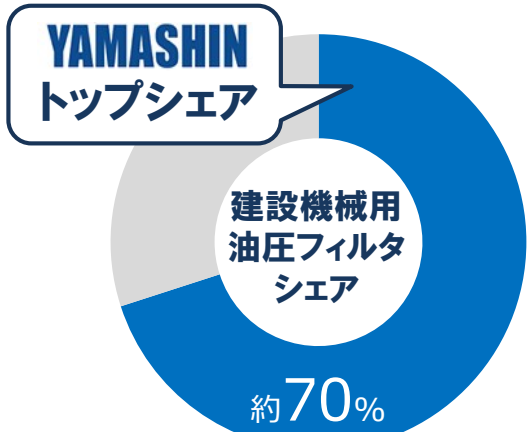
建設機械の進化に応じた、革新的なるろ材の研究開発力



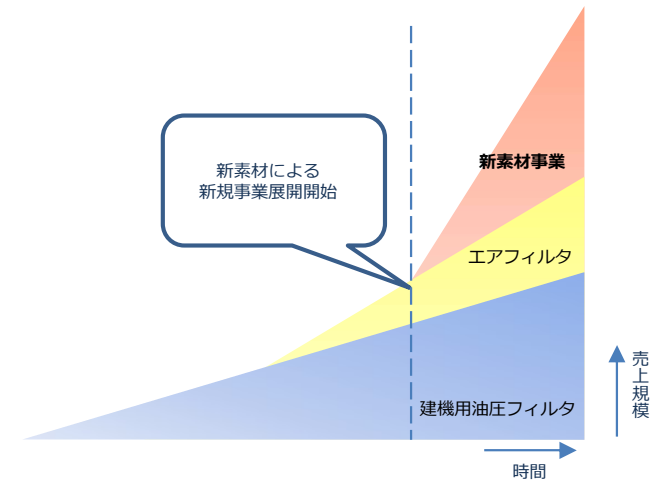
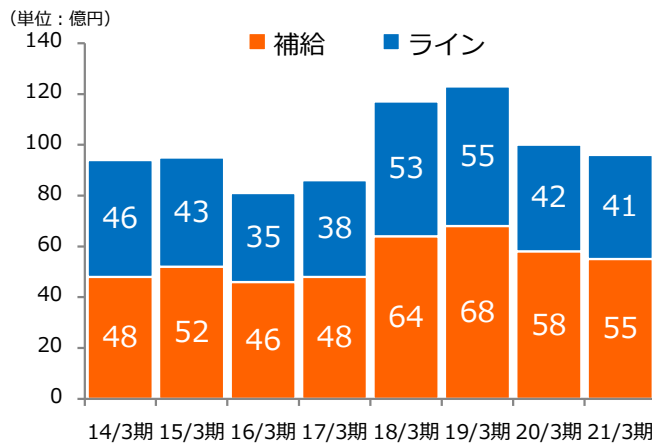
建機用油圧フィルタ市場での
圧倒的なシェア

新車需要・交換需要を取り込む
安定的な収益構造

新たに開発した革新素材による
ビジネス領域の拡大



国内における主要建機向け油圧フィルタ売上シェア（2012年度）
出典：矢野経済研究所



- 当社は効率的なインフラの整備に貢献してきた。
- 高い品質と豊富な実績に下支えされ、グローバル展開する日本・欧米・中国の大手建機メーカーに多くの製品が採用されている。

セグメント と KPI

- 建機用フィルタは「**ライン品**」と「**補給品**」に分かれる
- ライン品は新車搭載用のフィルタ。重要指標は「**新車需要台数**」
- 補給品は交換部品用のフィルタ。重要指標は「**稼働台数**」×「**稼働時間**」

販売形態 地域別動向 コスト削減

- **販売形態**
建機用フィルタの売上は、建機メーカーへの直接販売。エンドユーザーへの直販は基本的に行っていない
- **地域別動向**
地域別売上高は参考値。当社請求書送付先基準のため、実際の地域別市場動向と異なる
- **PAC21 (Promptly Activated Cost reduction 2021)**
全社的なコスト削減プロジェクト

用語	計算式
MAVY's	ROIC - WACC
ROIC	NOPAT ÷ 投下資本
投下資本利益率	(経常利益+支払利息) ÷ 投下資本
運転資本回転率	売上高 ÷ (売上債権+棚卸資産-仕入債務)
固定資産回転率	売上高 ÷ 固定資産
売上債権回転率	売上高 ÷ 売上債権
棚卸資産回転率	売上高 ÷ 棚卸資産
仕入債務回転率	売上原価 ÷ 仕入債務
有形固定資産回転率	売上高 ÷ 有形固定資産
無形固定資産回転率	売上高 ÷ 無形固定資産
Key Goal Indicator(KGI)	当期：累計実績値+予算、前期：年間実績値
Key Performance Indicator (KPI)	累計実績値比較

※貸借対照表項目について期首期末平均で計算しております。

STRENGTH (強み)

- 建機用フィルタ市場における圧倒的なシェア
- **新素材導入による更なるシェア拡大**
- 高い研究開発力
- PAC、MAVY'sによる強固な経営基盤

OPPORTUNITIES (機会)

- 中国市場の拡大、更なるシェア獲得
- **「総合フィルタメーカー」への飛躍によるビジネス領域の拡大 (エアフィルタ、YAMASHIN Nano Filter™、ヘルスケア用品への進出)**

WEAKNESS (弱み)

- 売上高の約7割が建機用フィルタに依存
- 人的リソース不足の懸念

THREAT (脅威)

- 建機用フィルタの模倣品増加によるシェア低下
- 中国市場の変調
- プロセス/産業フィルタの成長未達
- **新素材商品展開の遅れ**

総合フィルタメーカーを実現し脱却予定

新素材による模倣品排除

育成事業

エアフィルタ

新素材事業

構造改革事業

STRATEGY MATRIX

基盤事業 (成長)

建機用
フィルタ

基盤事業 (安定)

経営理念：「仕濾過事」(ろかじにつかふる)の具現化



※具体的削減KPIは参考資料をご覧ください

ヤマシングループは、アフターコロナ時代を見据え、取引関係者、株主の皆様、従業員とその家族の安全と健康を第一とし、適切な事業継続とワークライフバランスの充実を目指す

勤務体制 テレワークを継続し、働き方改革を実践

従業員自身に健康状態に異変があった際、また感染した方の濃厚接触者と特定された場合は出社禁止、医療機関等の指示を厳守することを通知・徹底し、社員の健康・安全、安心を確保しております。

① 海外現地法人での勤務体制

本社（横浜市中区）、横浜開発センタ（横浜市磯子区）、横須賀メディアラボ（横須賀市）、アクシー（大阪市・東京都中央区）において、在宅勤務を推奨 ※2020/6/1より「原則在宅勤務」から「推奨」へ変更

② 時差出勤等の励行

満員電車による密集状態を避けるため、オフィスへ出勤する際は時差出勤を実施。チーム制シフト勤務で、オフィス内の密集を回避

③ 海外現地法人での勤務体制

各国政府の指示に基づく感染症抑止策に従い、柔軟な勤務体制を適用

④ その他

当社グループの全施設で入口に消毒液を設置し、手指の消毒を徹底
会議、打合せは、WEB会議等のオンライン会議を活用する
国内出張、海外出張ともに、不要不急なものは禁止

生産体制

BCPに基づき、各拠点（セブ、佐賀、大阪、蘇州※生産委託、他）において柔軟な生産体制を実施

セブ工場 稼働再開し量産体制回復

佐賀工場 ろ材、マスク量産開始

蘇州工場 ※生産委託 通常稼働

大阪工場（アクシー） 本社工場移転、生産能力向上、マスク量産開始

業績への影響

各国で経済活動の再開と感染拡大防止策の両立を模索する動きが見られ、依然として先行き不透明な状況が続くなか、建機市場は回復基調

建機市場の動向

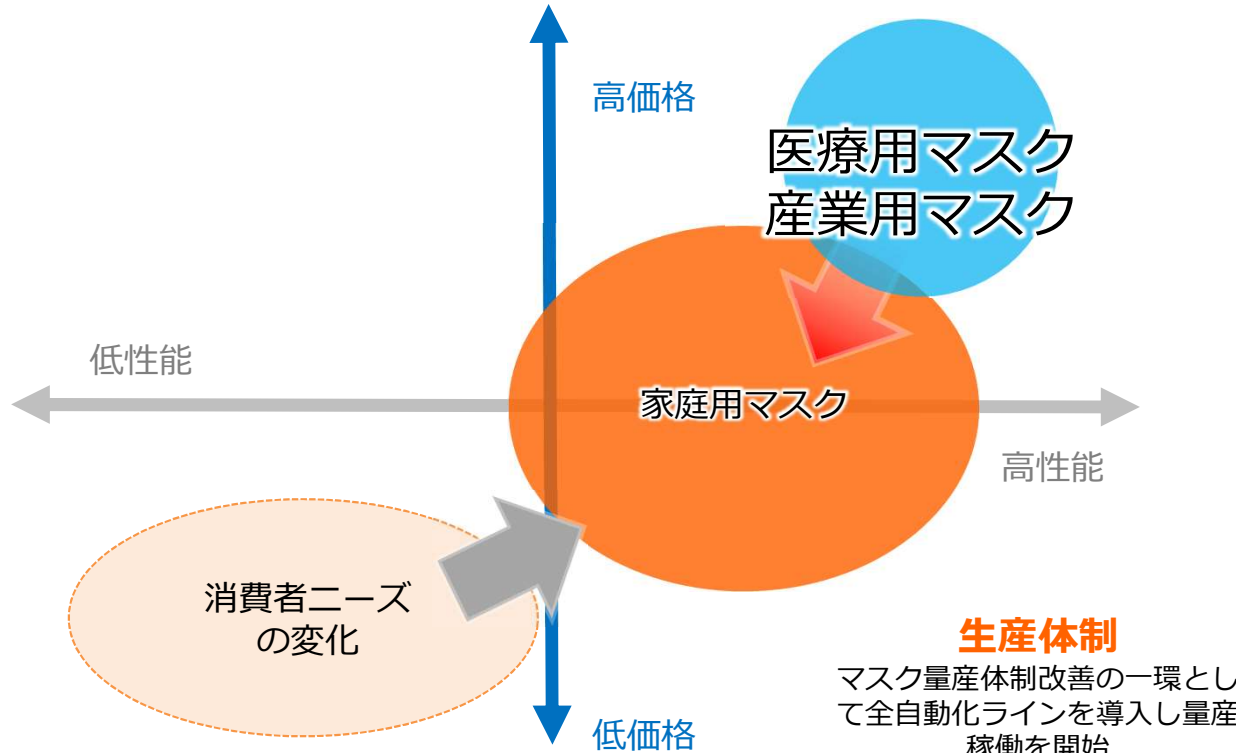
中国市場

経済活動は再開し、政府主導による公共投資の増加に伴う建機市場の更なる拡大が見込まれ、
主要顧客の生産活動は大幅に増加

日米欧亜市場

先行き不透明さが残るなか、経済活動の段階的な再開に伴い、主要顧客の生産体制は回復傾向

マスク市場のセグメンテーションとヤマシンの戦略



生産体制

マスク量産体制改善の一環として全自動化ラインを導入し量産稼働を開始

1年目 (2020)
販路拡大施策

2年目 (2021)
ラインナップの
充実

3年目 (2022-)
ブランド力強化

売上拡大のための営業方針

1年目で確立した販路に、競争力のある製品ラインナップを展開することで売上拡大、ヤマシンプランドの本格的な認知拡大を図る

新製品の導入



*製品の仕様は予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

スタンダードモデルの
到達点! **新発売!**



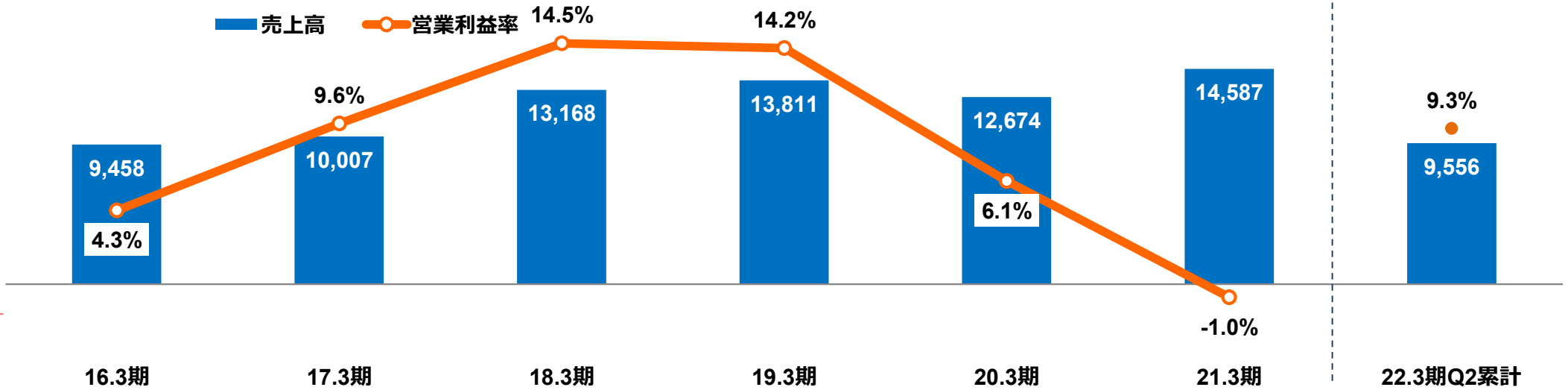
決算

参考資料

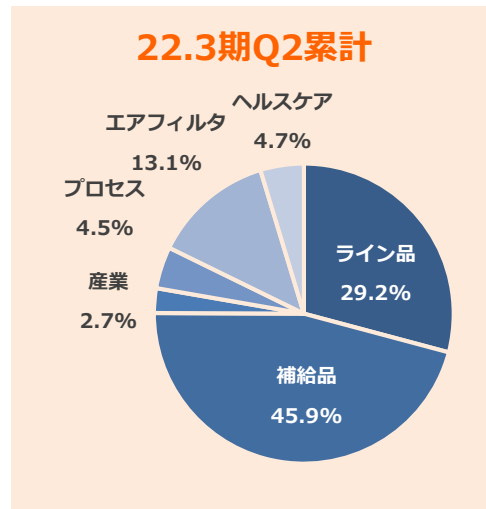
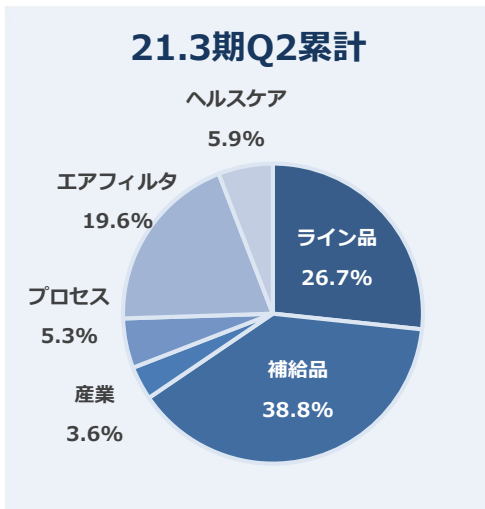
②財務ハイライト

売上高・営業利益率推移

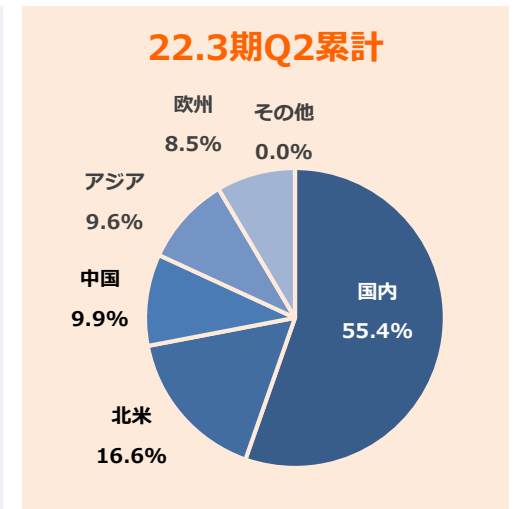
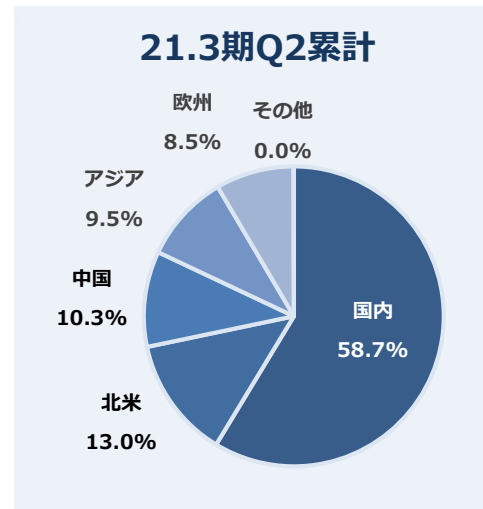
(単位：百万円)



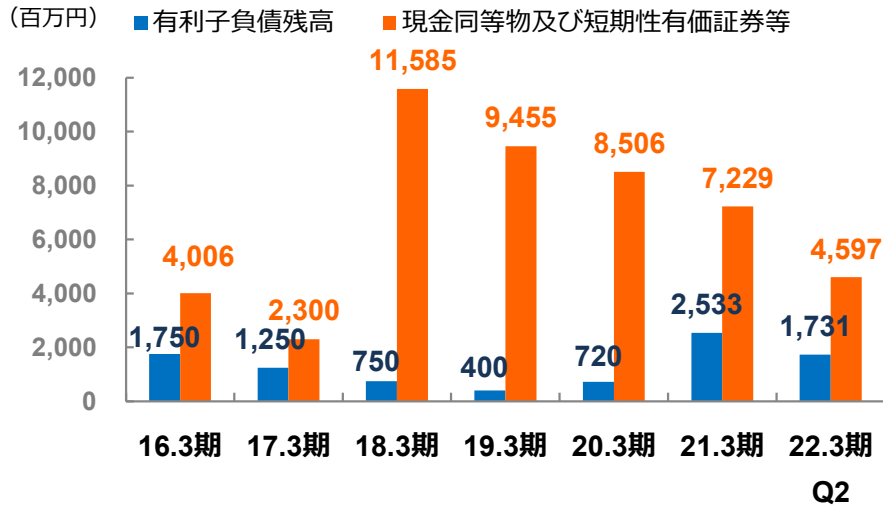
製品別売上高



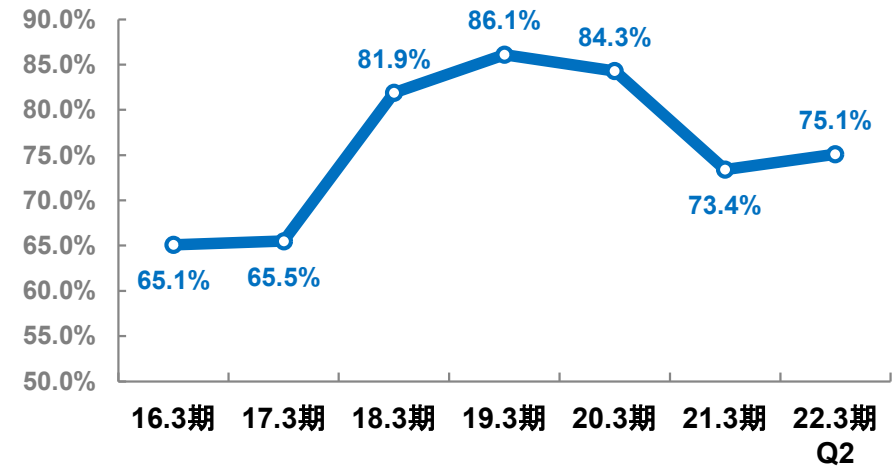
地域別売上高



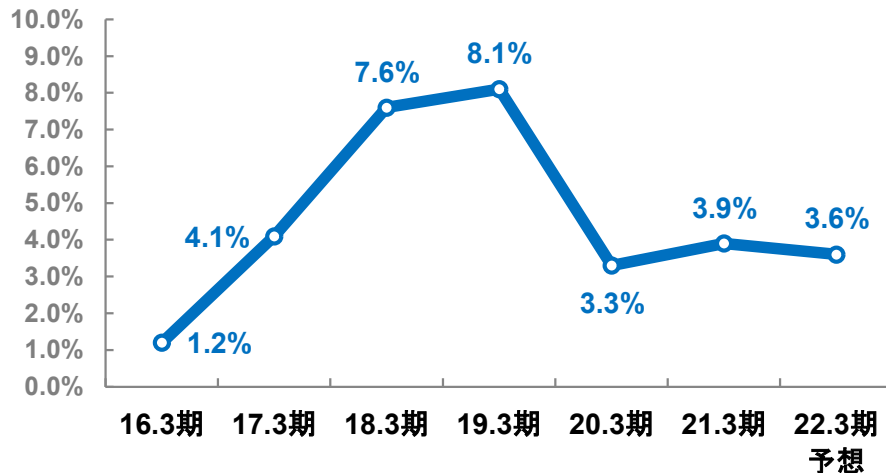
有利子負債・現金同等物及び短期性有価証券等残高



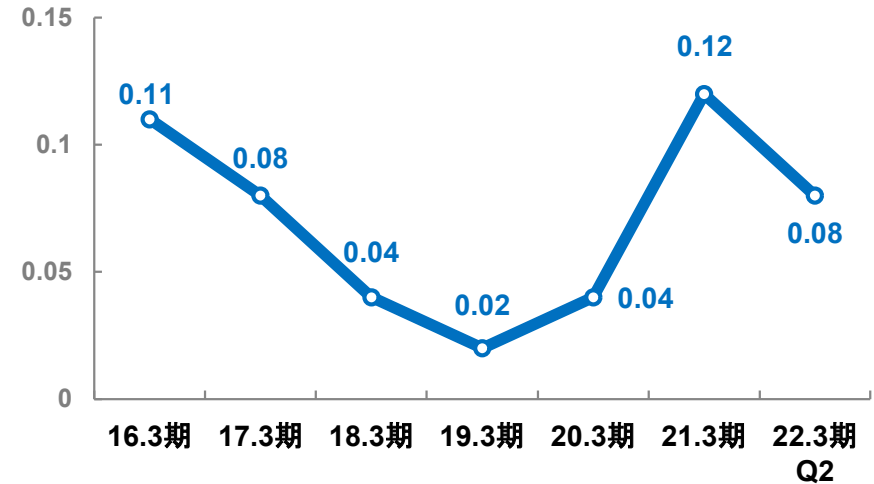
株主資本比率



ROE



D/Eレシオ



※18.3期に行った第三者割当増資を過年度より行ったと仮定して計算しております。

※18.3期に行った第三者割当増資を過年度より行ったと仮定して計算しております。

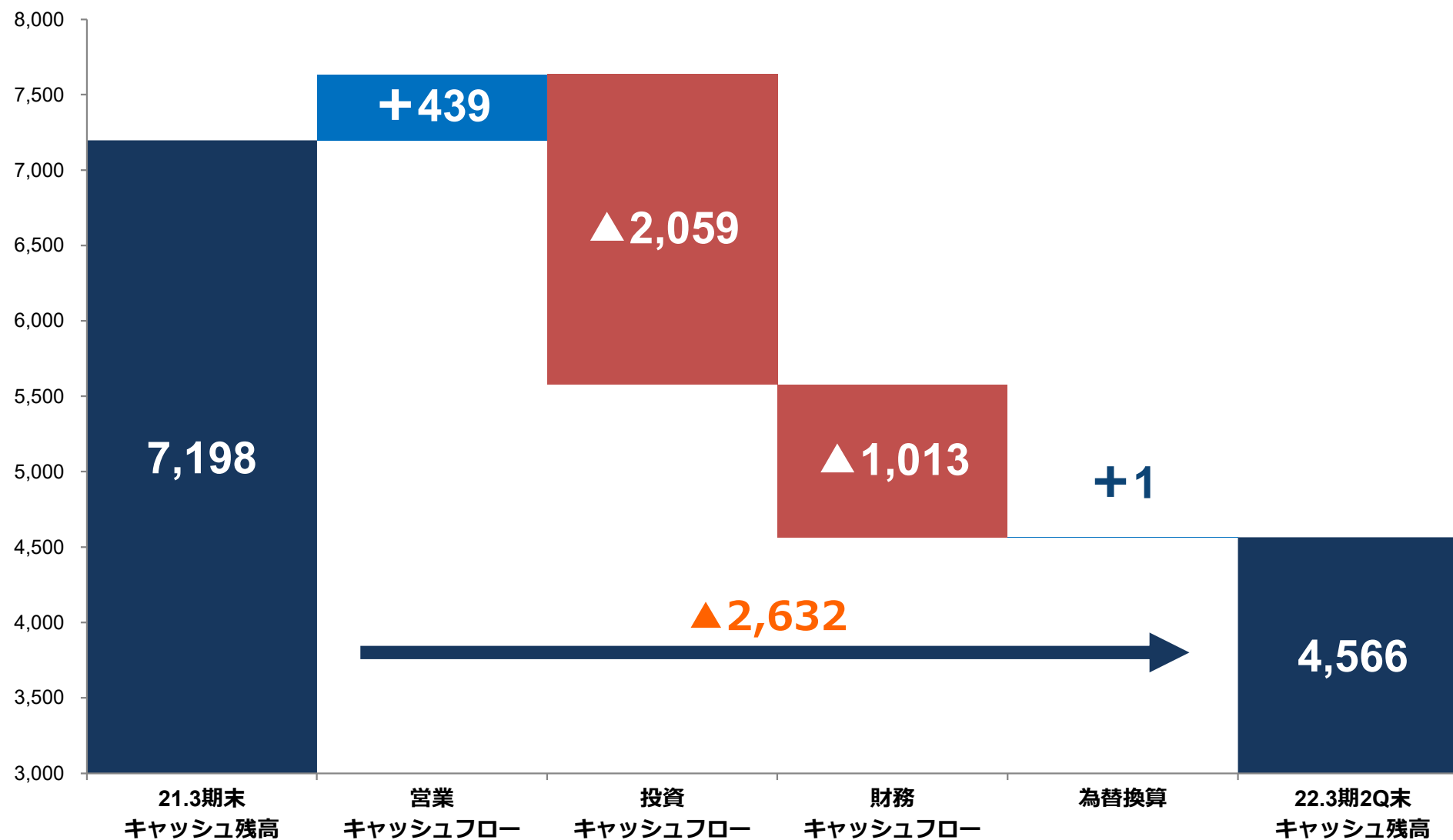
(単位：百万円)

	2021/3期 末	2022/3期 Q2末	増減額	増減率
流動資産	15,323	13,806	△1,516	△9.9%
現金及び預金	7,229	4,597	△2,631	△36.4%
受取手形及び売掛金	4,285	4,707	422	9.8%
商品・製品& 原材料・貯蔵品	3,021	4,128	1,106	36.6%
その他	785	372	△413	△52.6%
固定資産	12,868	13,933	1,065	8.3%
有形固定資産	10,813	11,844	1,030	9.5%
無形固定資産	330	301	△28	△8.7%
投資その他資産	1,724	1,787	63	3.7%
資産合計	28,191	27,740	△451	△1.6%

	2021/3期 末	2022/3期 Q2末	増減額	増減率
流動負債	5,539	5,186	△353	△6.4%
支払手形及び買掛金	1,952	2,377	424	21.7%
1年以内返済社債・ 短期借入金	1,003	403	△600	△59.8%
その他	2,583	2,405	△177	△6.9%
固定負債	1,969	1,729	△239	△12.2%
社債・長期借入金	1,529	1,327	△201	△13.2%
退職給付に係る負債	225	220	△4	△2.1%
その他	214	181	△33	△15.5%
純資産合計	20,682	20,824	141	0.7%
負債・純資産合計	28,191	27,740	△451	△1.6%

*自己資本比率 73.4% 75.1%

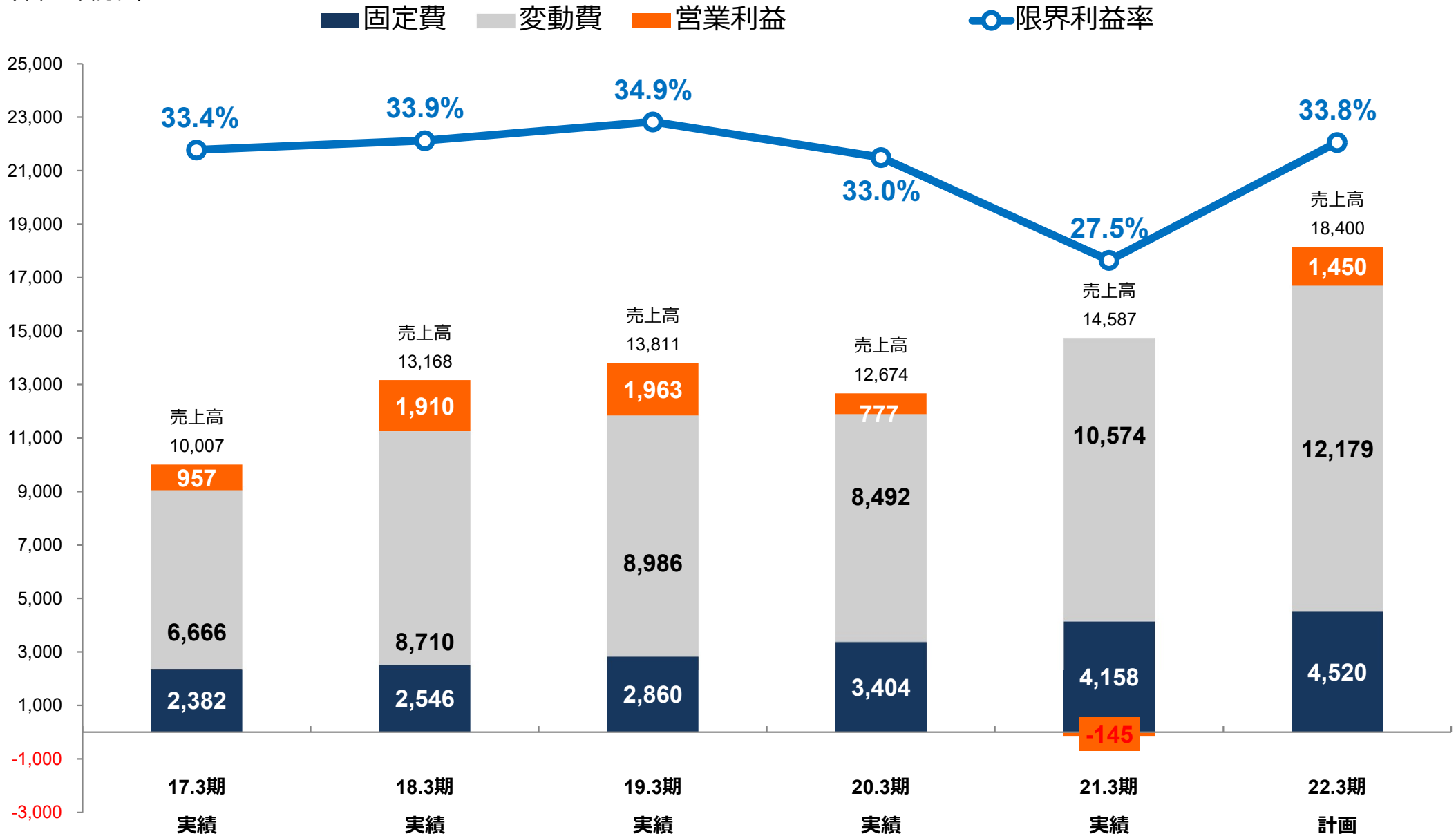
(単位：百万円)



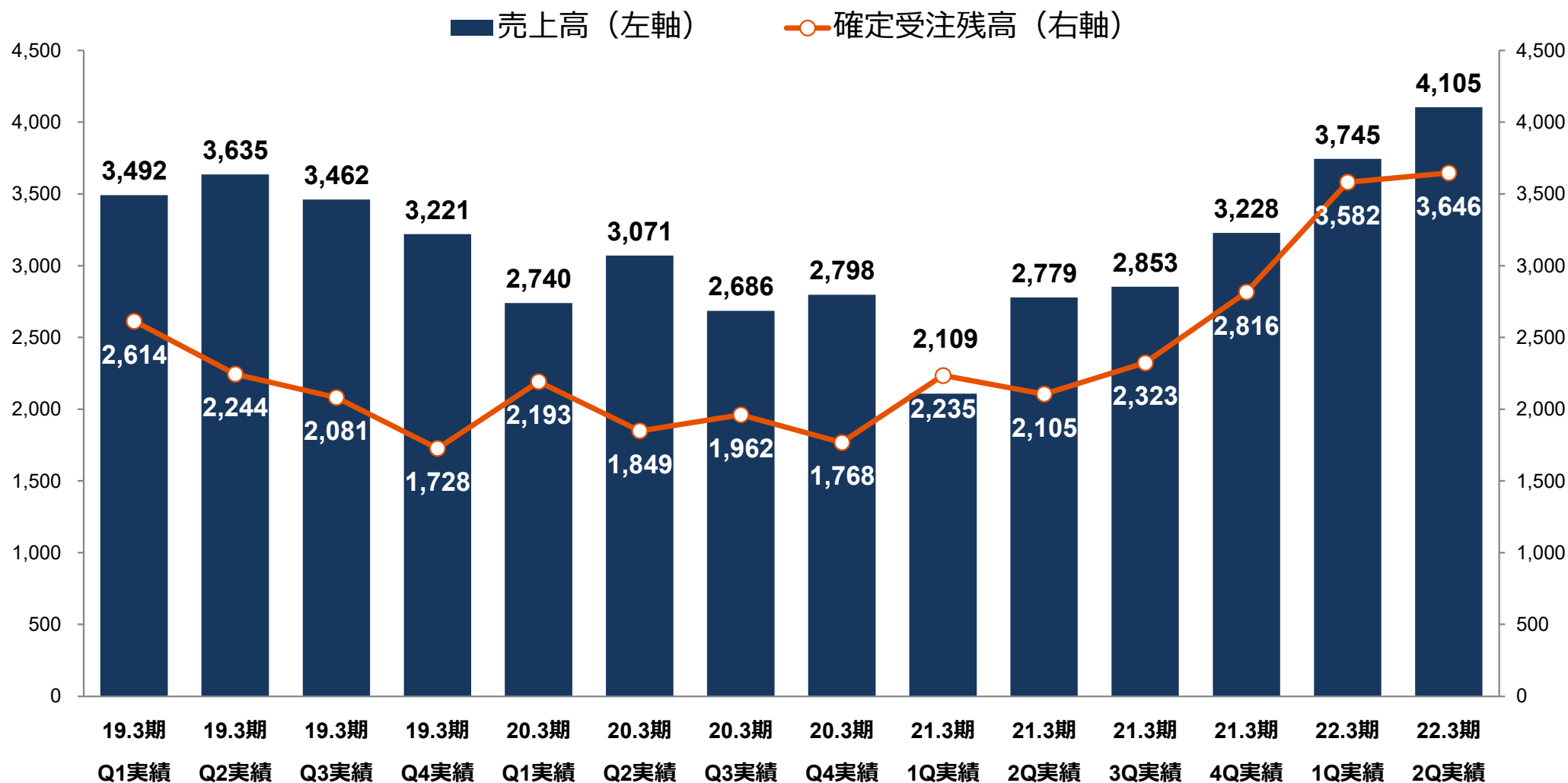
(単位：百万円)

Currency	Incoming		Outgoing		Net	期中 平均レート (JPY)	円高ケース (10%)			円安ケース (10%)		
	各通貨	構成比	各通貨	構成比			各通貨	期中平均 レート ▲10% (JPY)	レート 差額	影響額 (YTD)	期中平均 レート +10% (JPY)	レート 差額
JPY	¥11,300.0	74%	¥12,000.0	70%	¥-700.0	-	-	-	-	-	-	-
USD	\$30.1	22%	\$36.2	23%	-\$6.1	¥109.8	¥98.83	¥-10.98	¥66.98	¥120.79	¥10.98	¥-66.98
EUR	€ 3.2	3%	€ 2.6	2%	€ 0.6	¥130.9	¥117.82	¥-13.1	¥-7.85	¥144.00	¥13.09	¥7.85
PHP	PP0.0	0%	PP373.5	5%	PP-373.5	¥2.2	¥2.02	¥-0.2	¥83.66	¥2.46	¥0.22	¥-83.66
THB	฿44.30	1%	฿14.10	0%	฿30.20	¥3.4	¥3.08	¥-0.3	¥-10.33	¥3.76	¥0.34	¥10.33
Total	-	100%	-	100%	-	-	-	-	¥132.47	-	-	¥-132.47

(単位：百万円)



(単位：百万円)



2022年3月期 第2四半期 実績 (2021/7-9) - 全社費用を含めたPL

		2021/3期	2022/3期	前年同期比	
		Q2 実績	Q2 実績	増減額 (百万円)	増減率
		金額 (百万円)	金額 (百万円)		
売上高		3,705	4,870	1,165	31.5%
	建機用フィルタ※	2,779	4,105	1,326	47.7%
	エアフィルタ	624	613	△10	△1.6%
	ヘルスケア	301	151	△150	△49.9%
営業利益 (セグメント利益)		48	546	497	1,028.7%
	建機用フィルタ※	△14	707	722	-
	エアフィルタ	△7	△37	△30	-
	ヘルスケア	69	△125	△195	-
	営業利益率	1.3%	11.2%	9.9Pt	
経常利益		41	541	500	1,214.6%
	経常利益率	1.1%	11.1%	10.0Pt	
四半期純利益		△69	120	189	-
	四半期純利益率	△1.9%	2.5%	4.3Pt	
為替レート (円) (期中平均値)	USD	106.9	109.8	2.9	2.7%
	EUR	121.3	130.9	9.6	7.9%

※「建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含みます

*各セグメントの業績及び全社費用をよりの確に把握するため、当社の各報告セグメントに帰属しない本社及び一部子会社の管理部門の一般管理費等の全社費用につきましては、全社費用を別掲することにより、前連結会計年度より所定のセグメントに配賦しない方法に変更しております。そのため、前第2四半期数値については変更後の区分により作成したものを掲載しています

2022年3月期 第2四半期 累計実績（2021/4-9） - 全社費用を含めたPL

	2021/3期 Q2累計 実績		2022/3期 Q2累計 実績		前年同期比	
	金額（百万円）		金額（百万円）		増減額（百万円）	増減率
売上高	6,563		9,556		2,992	45.6%
建機用フィルタ※	4,888		7,858		2,969	60.7%
エアフィルタ	1,288		1,251		△36	△2.8%
ヘルスケア	386		446		59	15.4%
営業利益（セグメント利益）	△50		887		937	-
建機用フィルタ※	△195		1,187		1,382	-
エアフィルタ	38		△63		△102	-
ヘルスケア	106		△236		△342	-
営業利益率	△0.8%		9.3%		10.1Pt	
経常利益	△60		876		937	-
経常利益率	△0.9%		9.2%		10.1Pt	
四半期純利益	△152		328		480	-
四半期純利益率	△2.3%		3.4%		5.8Pt	
為替レート（円） （期中平均値）	USD	106.9	109.8	2.9	2.7%	
	EUR	121.3	130.9	9.6	7.9%	

※「建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含みます。

*各セグメントの業績及び全社費用をよりの確に把握するため、当社の各報告セグメントに帰属しない本社及び一部子会社の管理部門の一般管理費等の全社費用につきましては、全社費用を別掲することにより、前連結会計年度より所定のセグメントに配賦しない方法に変更しております。そのため、前第2四半期数値については変更後の区分により作成したものを掲載しています

		2021/3期 実績	2022/3期 期初予想	2022/3期 修正予想	差異
		金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	増減額 (百万円)
売上高		14,587	16,600	18,400	1,800
	建機用フィルタ*	10,970	12,000	15,000	3,000
	エアフィルタ	2,607	3,000	2,500	△500
	ヘルスケア	1,009	1,600	900	△700
営業利益		△145	1,500	1,700	200
	建機用フィルタ*	22	960	2,000	1,040
	エアフィルタ	△18	300	△100	△400
	ヘルスケア	△150	240	△200	△440
	営業利益率	△1.0%	9.0%	9.2%	0.2Pt
経常利益		△135	1,470	1,680	210
	経常利益率	△0.9%	8.9%	9.1%	0.3Pt
当期純利益		750	960	750	△210
	当期純利益率	5.1%	5.8%	4.1%	△1.7Pt
為替レート (円)	USD	106.1	105.0	110.0	3.7%
	EUR	123.7	125.0	130.0	5.1%

※「建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含みます

The Specialist in Filtration
YAMASHIN 



この資料に記載されている業績の見通し等将来に関する情報は、現在入手可能な情報に基づいて作成しております
実際の業績は市場動向や業績情勢等の様々な要因等によって異なる可能性があります

この資料に関するお問い合わせは ヤマシンフィルタ株式会社 広報・IR担当まで

TEL 045-680-1680

E-mail ir@yamashin-filter.co.jp